

Speed Wi-Fi NEXT W07

User Guide 取扱説明書 詳細版

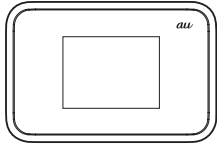


ごあいさつ

このたびは、「Speed Wi-Fi NEXT W07」(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本体付属の「はじめてガイド」「ご利用にあたっての注意事項(保証書)」または「取扱説明書 詳細版」(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



SIM取り出し用ピン(試供品)*

- 無線LAN初期設定シール
- はじめてガイド
- ご利用にあたっての注意事項(保証書)

* au Nano IC Card O4 LEの取り付け/取り外しに使用します。

以下のものは同梱されていません。

- au Nano IC Card O4 LE
- ACアダプタ
- USB Type-C™ケーブル
- クレードル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■「はじめてガイド」

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■「取扱説明書 詳細版」(本書)

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「取扱説明書 詳細版」は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the "Quick Start Guide", "Notes on Usage" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

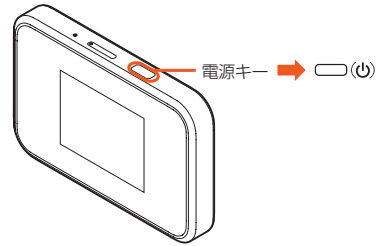
『はじめてガイド(英語版)』『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について




■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■ 項目/アイコン/キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面→[設定]→[画面設定]	ホーム画面で「  設定」をタップします。続けて「画面設定」をタップします。
 (2秒以上長押し)	 を2秒以上長押しします。

* タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽くたたいて選択する動作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card O4 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面



本書の表記例

- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「au Nano IC Card O4 LE」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	1
目次	2
注意事項	3
注意事項	4
本製品のご利用について	4
安全上のご注意(必ずお守りください)	4
材質一覧	7
取り扱い上のご注意	7
無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	9
無線LAN(Wi-Fi®)について	9
周波数帯について	9
電波障害自主規制について	9
PINコードについて	9
データ通信料についてのご注意	9
マナーも携帯する	9
ご利用の準備	11
ご利用の準備	12
ご利用になる前に	12
各部の名称と機能	12
本体のキー／ボタン操作について	13
au ICカード(SIMカード)について	13
au ICカードを取り付ける／取り外す	14
au ICカードを取り付ける	14
au ICカードを取り外す	15
充電する	15
充電について	15
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	15
指定のクレードル(別売)を使って充電する	16
パソコンを使って充電する	16
モバイル給電をする	16
電源を入れる／切る	17
電源を入れる	17
電源を切る	17
再起動する	17
画面をロックする／画面ロックを解除する	17
初期設定を行う	17
工場出荷状態に戻す(リセット)	17
スマートフォンなどの通信機器との接続	18
無線LAN(Wi-Fi®)で接続する	18
USBケーブルで接続する	18
指定のクレードル(別売)にLANケーブル(市販品)で接続する	18
本製品の便利な機能	19
モバイル給電対応	19
QRコードとWPS接続	19
動作環境	19
Wi-Fi®接続できる機器について	19
USB接続できる機器について	19
本製品の設定を変更できる機器について	19
基本操作	21
基本操作	22
タッチパネルの使いかた	22
ディスプレイの表示について	22
アイコンについて	23
メッセージ表示について	23
基本的な操作	23
Webブラウザを利用して設定する	24
無線LAN(Wi-Fi®)接続／USB接続	25
無線LAN(Wi-Fi®)接続／USB接続	26
無線LAN(Wi-Fi®)で接続する	26
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	26
5GHz帯の使用について	26
一般的な無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を接続する	27
Windowsを接続する	29
Macを接続する	33
Android搭載端末を接続する	34
iPhone/iPod touch/iPadを接続する	36
USB接続する	38
USB接続モードについて	38
パソコンに取り付ける	38
パソコンから取り外す	38

インターネット	39
インターネット	40
インターネットに接続する	40
通信モードを切り替える	40
指定のクレードル(別売)にLANケーブル(市販品)を接続して通信する	40
機能設定	41
機能設定	42
本製品のタッチメニューについて	42
データ通信量	42
設定	42
設定ツールについて	44
対応するWebブラウザ	44
設定ツールを表示する	44
設定ツール画面のみかた	45
アイコンについて	45
接続端末	45
MACアドレスを追加する	45
MACアドレスフィルタリングの有効／無効を切り替える	45
ネットワーク	46
モバイルネットワーク	46
APN プロファイル設定	46
PIN管理	46
設定	46
LAN設定	46
Wi-Fi設定	48
端末設定	49
端末情報	50
海外利用	51
海外利用	52
au世界サービスについて	52
海外利用に関する設定を行う	52
本製品のタッチメニューで行う場合	52
設定ツールで行う場合	52
お問い合わせ方法	53
海外からのお問い合わせ	53
海外でのご利用上のご注意	53
付録・索引	55
付録	56
ソフトウェアを更新する	56
故障とお考えになる前に	56
アフターサービスについて	57
周辺機器	57
メニュー項目／設定項目一覧	58
設定ツール	58
本体(タッチメニュー)	61
主な仕様	62
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	62
Regulatory information	63
FCC Notice	63
輸出管理規制	64
知的財産権について	64
索引	65

注意事項

注意事項.....	4
本製品のご利用について.....	4
安全上のご注意(必ずお守りください).....	4
材質一覧.....	7
取り扱い上のご注意.....	7
無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い.....	9
電波障害自主規制について.....	9
PINコードについて.....	9
データ通信料についてのご注意.....	9
マナーも携帯する.....	9

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、「故障とお考えになる前に」(▶P.56)で症状をご確認ください。

- 通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。(ただし、LTE/WiMAX 2+/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています。)
- 本製品はau世界サービス対応の機種ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使用の本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている本製品のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、WiMAX 2+ネットワーク環境でご使用になれますが、本製品の品質などに関してUQコミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。
- 本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。




※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元: シャープ株式会社

- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。







	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷*2を負う可能性が想定される場合および物的損害*3の発生が想定される」内容です。

*1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 軽傷: 治療入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。









*3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

危険

-  高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、お風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意ください
・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
-  分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  本製品の背面カバーを取り外そうとしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



水濡れ
禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさない
てください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ
禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペ
ットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原
因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を
与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)
を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてく
ださい。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでく
ださい。
火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中
止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所
に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をして
いる場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となりま
す。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示
に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下など
に注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となりま
す。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形など
の異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントから抜く。
・本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因と
なります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置か
ないでください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はし
ないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った
使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
au ICカードトレイやSIM取り出し用ピン(試供品)などの小
さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなるこ
とがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れ
たり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがな
いようご注意ください。
データ通信など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充
電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い
部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌
の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)でたた
いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれ
いな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因と
なります。

警告



禁止

本製品内のau ICカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料
水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの
異物を入れないでください。
また、au ICカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切ってください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指
示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となりま
す。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令によ
り罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってくだ
さい。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因とな
ります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メー
カーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のう
えご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となりま
す。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本
製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因と
なります。
※ご注意ください!電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、そ
の他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓
ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器
をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業
者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部などを破損した際には、割れた破損部や露し
た本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因とな
ります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用を
やめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原
因となります。

注意



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手など
の皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着し
た場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受
けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因
となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持
ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってくだ
さい。



内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



au ICカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出し用ピン(試供品)の先端にご注意ください。
SIM取り出し用ピン(試供品)の先端に触れると、けがなどの原因となります。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.7)をご参照ください。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

警告



指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。



コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグ、クレードル(別売)に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて

注意



au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

警告



SIM取り出し用ピン(試供品)の先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

注意



皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.7)をご参照ください。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(電源オフ)。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイパネル	アクリル樹脂+PC樹脂	ハードコート
外装(正面/側面)	PC樹脂	塗装、ハードコート
外装(背面)	PC樹脂	塗装、ハードコート、印刷
電源キー	PC樹脂	塗装、ハードコート
外部接続端子の周囲(内側側面)	ステンレス	なし
au ICカードトレイ(外装部)	PC樹脂	塗装、ハードコート
au ICカードトレイ	PC樹脂	なし
IMEIプレート	PET樹脂	印刷
IMEIラベル	PET樹脂	印刷

■ SIM取り出し用ピン(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	ステンレス	なし

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くの方が詰まった荷物の中に入れて、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。
- また、外部機器を外部接続端子に差し込んだ状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 本体
 - ・ au ICカード(本体装着状態)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れてください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反となります。
- 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手でのご使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの操作はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の操作は法律で禁止されています。また、自転車運転中の操作も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号含む)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認ください。
ホーム画面→[端末情報]
- 本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「[技術マーク]」が本製品内で確認できるようになっております。認証情報については、本製品内の電子認証内容でご確認ください。よろしくお願いいたします。
- 本製品の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- au ICカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えたりすると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 通常はau ICカードトレイを閉じた状態で使用してください。au ICカードトレイを開けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。本製品内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護フィルムやシールなどを貼った操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作

■ 内蔵電池について



(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
 - ・ 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
 - ・ 高温多湿の状態
- 内蔵電池はご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器(別売)のケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

- au ICカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

- SIM取り出し用ピン(試供品)を、au ICカードトレイ取り出し用の穴やRESETボタンの穴以外の穴などに挿入しないでください。故障、破損の原因となります。
- 無理な力がかからないように使用してください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出し用ピン(試供品)は取扱説明書(本書)に記載の使用目的以外では使用しないでください。故障、破損の原因となります。
- SIM取り出し用ピン(試供品)は他の携帯端末には使用しないでください。携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 本製品の2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域では、2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本製品の5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。海外で5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能をご利用いただくことはできません。
- 無線LAN(Wi-Fi®)が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報をご確認いただくことができます。

ホーム画面→[端末情報]

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。干渉距離は約40m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1~13です。利用可能なチャンネルは、国により異なります。航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯、5GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能ご使用上の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類のチャンネルを使用することができます。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本製品の設定を2.4GHz帯にしてご利用ください。5.2GHz/5.3GHz帯(W52/W53)を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

本製品が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS機能が作動し、電波干渉を起こさない無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。DFSチェック中は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が一時的に停止されます。

- 本製品はすべての無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に基づいたセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認ください。

ホーム画面→[端末情報]

PINコードについて

PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力可否は「入力必要」に変更できます。「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- 本製品で各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

マナーも携帯する

こんな場所では、使用禁止!

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

周りの人への配慮も大切

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使しましょう。
- 本製品の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まった操作は控えましょう。
- 新幹線の中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

ご利用の準備	12
ご利用になる前に	12
各部の名称と機能	12
au ICカード(SIMカード)について	13
au ICカードを取り付ける／取り外す	14
充電する	15
電源を入れる／切る	17
初期設定を行う	17
工場出荷状態に戻す(リセット)	17
スマートフォンなどの通信機器との接続	18
本製品の便利な機能	19
動作環境	19

ご利用の準備

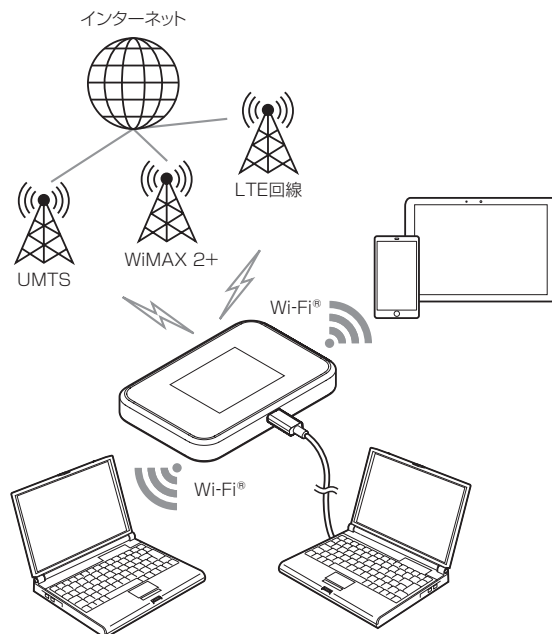
ご利用になる前に

本製品は無線基地局とWiMAX 2+方式、LTE方式およびUMTS方式を利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は、以下の通信モードを選択いただけます。
・各通信モードの選択、設定方法について詳しくは、「通信モードを切り替える」(▶P.40)をご参照ください。

	WiMAX 2+	LTE	UMTS*
ハイスピード	○	—	—
ハイスピードプラスエリア	○	○	○

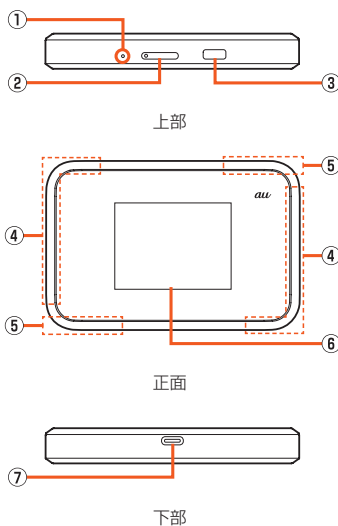
* 国際ローミング中

お買い上げ時は、「ハイスピード」に設定されています。「ハイスピードプラスエリア」に切り替えるとお客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がございますので、ご注意ください。



- ・本製品とスマートフォンやパソコンなどの通信機器との接続については、「無線LAN(Wi-Fi®)接続/USB接続」(▶P.26)をご参照ください。
- ・海外では、LTE方式およびUMTS方式を利用してデータ通信を行うことができます。詳しくは、「海外利用」(▶P.52)をご参照ください。

各部の名称と機能



① RESETボタン

本製品の電源が入っている状態で、SIM取り出し用ピン(試供品)を使用して押し、本製品の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。詳しくは、「工場出荷状態に戻す(リセット)」(▶P.17)をご参照ください。

- ・設定ツールの操作でもお買い上げ時の状態に戻すことができます。詳しくは、「初期値に戻す」(▶P.50)をご参照ください。

② au ICカードトレイ

③ 電源キー

画面を点灯/消灯します。

長押しすると、電源ON/OFFや再起動ができます。詳しくは、「電源を入れる/切る」(▶P.17)をご参照ください。

④ 内蔵アンテナ

⑤ 内蔵アンテナ/Wi-Fi®アンテナ

⑥ ディスプレイ(タッチパネル)

⑦ 外部接続端子

TypeC共通ACアダプタ01/02(別売)、指定のクレードル(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。

- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- ◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切るには」(▶P.17)をご参照ください。

内蔵アンテナ、Wi-Fi®アンテナについて

- ◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通信中はアンテナを手でおおわないでください。通信品質が悪くなる場合があります。

au ICカードトレイについて

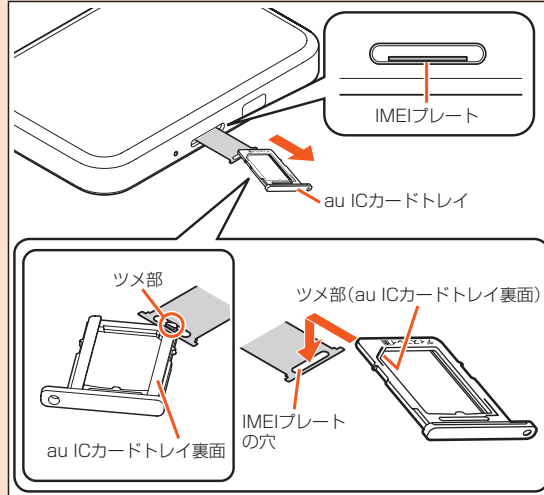
- ◎ au ICカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

IMEIプレートについて

- ◎ au ICカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報(端末識別番号)を印刷したシール(IMEIラベル)が貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となる場合を除き、プレートを引き出さないでください。また、シールをはがしたりしないでください。

IMEIプレートを引き出すには

- ① ディスプレイ面を上向きにして、au ICカードトレイを引き出し、au ICカードを取り外す。
(au ICカードトレイの引き出しかたについては、「au ICカードを取り付ける」(▶P.14)手順1・2をご参照ください。)
- ② ディスプレイ面を下向きにして、au ICカードトレイ裏面(文字が印刷されていない面)のツメ部をIMEIプレートの穴にかけて、IMEIプレートを引き出す。(IMEIプレートは引き抜かないでください。)



- ◎ IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ◎ IMEIプレートを引き出した場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。
- ◎ 本製品を操作してIMEI情報を確認することもできます。
ホーム画面→[端末情報]

■ 本体のキー／ボタン操作について

本体のキー／ボタンで次の操作ができます。

■ 電源キー

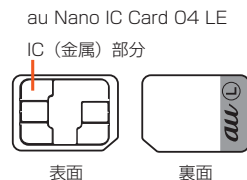
電源を入れる	○(⏻)(2秒以上長押し)
電源を切る	○(⏻)(2秒以上長押し)→[電源をオフ]
再起動	○(⏻)(2秒以上長押し)→[再起動]
画面点灯	画面消灯中に○(⏻)
画面消灯	画面点灯中に○(⏻)
強制的に電源を切る	○(⏻)(8秒以上長押し)

■ RESETボタン

お買い上げ時の状態に戻す	SIM取り出し用ピン(試供品)で2秒以上押し→[はい]
--------------	-----------------------------

■ au ICカード(SIMカード)について

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card O4 LEに対応しております。



- ◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご確認ください。
 - ・ au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 取り付け、取り外しは本製品の電源を切ってから行ってください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ au ICカード着脱時は、必ずTypeC共通ACアダプタO1/O2(別売)などのUSB Type-Cプラグを本製品から抜いてください。
- ◎ au ICカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出し用ピン(試供品)が必要です。
- ◎ au ICカードにはお客様の電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発信などはできません。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- データ通信(インターネット接続)
- PINコード設定
- 本製品の電話番号の確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

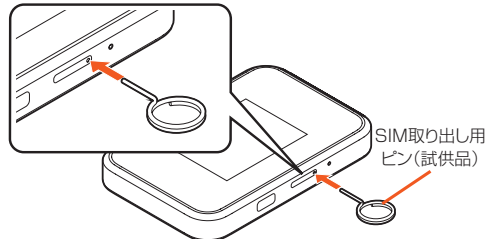
au ICカードを取り付ける／取り外す

au ICカードの取り付け、取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。
また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

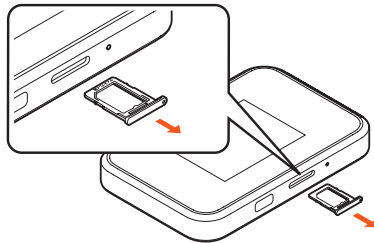
au ICカードを取り付ける

1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をau ICカードトレイ取り出し用の穴に差し込む

au ICカードトレイが出てくるまで、しっかりと水平に差し込んでください。
まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

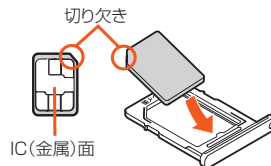


2 au ICカードトレイを引き出す



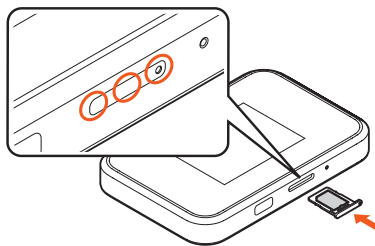
3 au ICカードのIC(金属)面を下向きにして、au ICカードトレイに取り付ける

au ICカードの向きに注意して、確実にau ICカードトレイに取り付けてください。
au ICカードは、au ICカードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



4 ディスプレイ面を上向きにして、au ICカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

○部分をしっかりと押し、本体とau ICカードトレイに隙間がないことを確認してください。

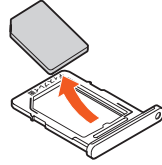


au ICカードトレイの着脱について

- au ICカードは、直接本体に差し込まないでください。au ICカードをau ICカードトレイに取り付けた後で、au ICカードトレイごと本体に差し込んでください。
- 取り外したau ICカードトレイは紛失・破損しないようご注意ください。
- au ICカードトレイを本体から引き出すときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくりと水平に引き出してください。
 - au ICカードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
 - ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でau ICカードトレイを引き出すと、au ICカードトレイに取り付けられているau ICカードが外れ、紛失する可能性があります。
- au ICカードトレイを本体に取り付けるときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくり差し込み、本体とau ICカードトレイに隙間がないことを確認してください。
 - au ICカードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、au ICカードトレイが破損するおそれがあります。

au ICカードを取り外す

- 1 SIM取り出し用ピン(試供品)を利用してau ICカードトレイを引き出す
引き出すときに、au ICカードがau ICカードトレイから外れて、紛失したりしないようにご注意ください。
- 2 au ICカードをau ICカードトレイから取り外す



- 3 ディスプレイ面を上向きにして、au ICカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

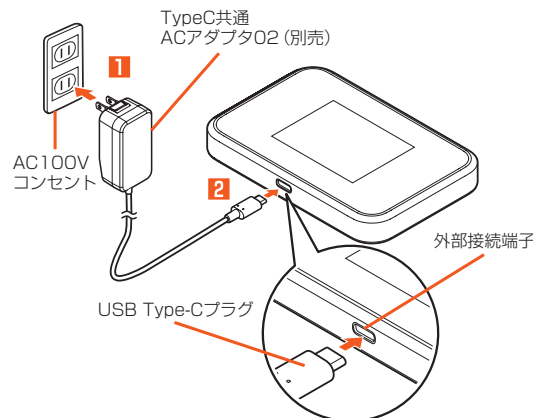
- 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性があります。ホーム画面→[設定]→[電池性能表示]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- 充電中は電池マークに⚡が重なって表示されます。

- 充電中、本製品が温かくなる場合がありますが異常ではありません。
- 操作方法或使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
- 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。このような場合、指定の充電用機器(別売)は再び充電を行います。ただし、充電用機器から端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)について詳しくは、「周辺機器」(▶P.57)をご参照ください。

- 1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む
- 2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを、本製品の外部接続端子に矢印の方向に差し込む



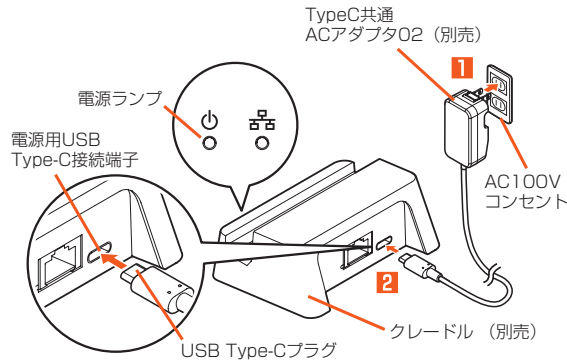
- 3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く
- 4 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

- 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

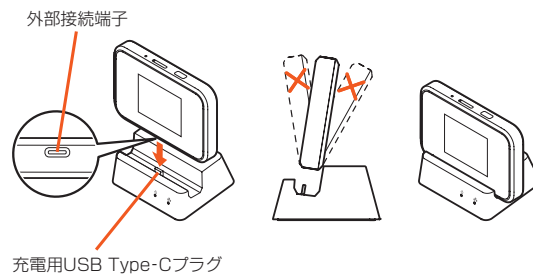
指定のクレードル(別売)を使って充電する

クレードル(別売)で充電する場合は、クレードル(別売)に付属されている取扱説明書をあわせてご覧ください。
ここではクレードル(別売)とTypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.57)をご参照ください。

- 1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む
- 2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを、クレードル(別売)の電源用USB Type-C接続端子に水平に差し込む
クレードル(別売)の電源ランプが点灯します。



- 3 本製品の外部接続端子を下にして、クレードル(別売)の充電用USB Type-Cプラグに対し、まっすぐ接続する
本製品とクレードル(別売)の向きが合っていることをご確認ください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。



- 4 充電が終わったら、TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く
- 5 本製品をクレードル(別売)の充電用USB Type-Cプラグに対し、まっすぐ取り外す
- 6 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを、クレードル(別売)の電源用USB Type-C接続端子から抜く

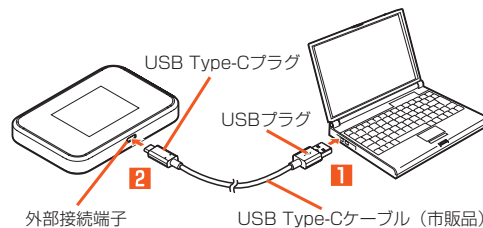
- ◎ 海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- ◎ 無理に差し込んだり抜いたりすると、電源用USB Type-C接続端子や充電用USB Type-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- ◎ 電源ランプが点灯しないときは、クレードル(別売)が指定のACアダプタ(別売)でコンセントに正しく接続されているかご確認ください。
- ◎ 本製品をクレードル(別売)に置くときは、金属製のものを挟まないようにご注意ください。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSBプラグをパソコンのUSBポートに接続
- 2 USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品の外部接続端子に接続

本製品の電源を入れた状態でパソコンに接続すると、USB接続機能が起動し、自動的にインターネットに接続されます。データ通信により課金が発生しますのでご注意ください。



- ◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて時間が長くなる場合があります。
- ◎ データ通信中にUSB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。

モバイル給電をする

USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とお使いのスマートフォンなどを接続して充電することができます。

- 1 ホーム画面→【モバイル給電】
- 2 画面を上をスライド
- 3 [50%] / [30%]
電池残量が選択したパーセントになると給電を停止します。
- 4 【給電】
- 5 USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とお使いのスマートフォンなどを接続する

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1 電源が切れた状態で $\square(\cup)$ (2秒以上長押し)

電源を切る

- 1 $\square(\cup)$ (2秒以上長押し)
- 2 [電源をオフ]

再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

- 1 $\square(\cup)$ (2秒以上長押し)
- 2 [再起動]

■ 強制的に電源を切るには

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

- 1 $\square(\cup)$ (8秒以上長押し)

◎ 強制的に電源を切ると、設定した内容などが消失する場合があります。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

画面をロックする／画面ロックを解除する

$\square(\cup)$ を押すか、一定時間操作しないと画面が消灯します。画面を点灯するとロック画面が表示されます。

■ 画面ロックを解除する

- 1 画面が消灯している状態で $\square(\cup)$
- 2 \square を右にスライド

- ◎ 画面の点灯時間は変更することができます。
 - ・詳しくは、「画面設定」(▶P.43)をご参照ください。
- ◎ 画面ロック解除時にパスワードを入力するかどうかを設定できます。
 - ・詳しくは、「画面ロック」(▶P.43)をご参照ください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは画面ロック解除後、自動的に初期設定画面が表示されます。

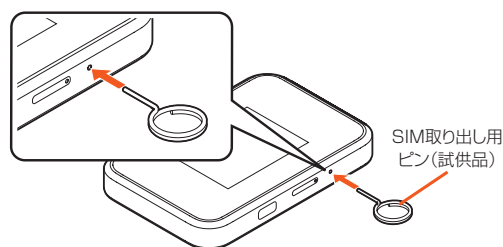
- 1 「ソフトウェア更新」について「自動更新」の[はい]／[いいえ]を選択
ホーム画面が表示されます。

工場出荷状態に戻す(リセット)

本製品の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

■ 本製品を工場出荷状態に戻すには(リセット)

- 1 本製品の電源が入っている状態で、SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をRESETボタンの穴に差し込む
- 2 RESETボタンを2秒以上長押し
- 3 [はい]



- ◎ 設定ツールの操作でもお買い上げ時の状態に戻すことができます。
 - ・詳しくは、「初期値に戻す」(▶P.50)をご参照ください。
- ◎ リセットを実行すると設定した内容(PINコード設定を除く)は消失します。リセットを実行する前に、本製品の設定をバックアップすることをおすすめします。
 - ・詳しくは、「バックアップ・リストア」(▶P.49)をご参照ください。

スマートフォンなどの通信機器との接続

本製品は、無線LAN(Wi-Fi®)機能によりパソコンやスマートフォン、タブレットなどの複数の無線LAN(Wi-Fi®)対応機器と接続したり、USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンなどと接続したりできます。さらに、接続した端末から本製品を経由してWiMAX 2+方式やLTE方式、UMTS方式を使ったインターネット接続によるデータ通信ができます。

無線LAN(Wi-Fi®)で接続する

本製品と無線LAN(Wi-Fi®)対応機器(パソコンやスマートフォン、タブレットなど)を接続し、データ通信ができます。

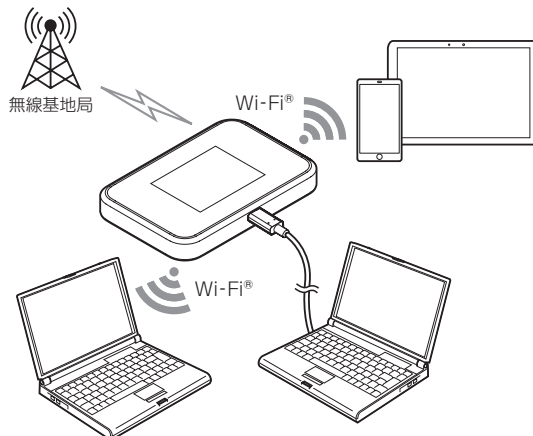
- 本製品は無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を同時に10台まで接続できます。
- 接続方法について詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)で接続する」(▶P.26)をご参照ください。



USBケーブルで接続する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続し、データ通信ができます。また、Wi-Fi®接続とUSB接続を同時に利用することもできます。

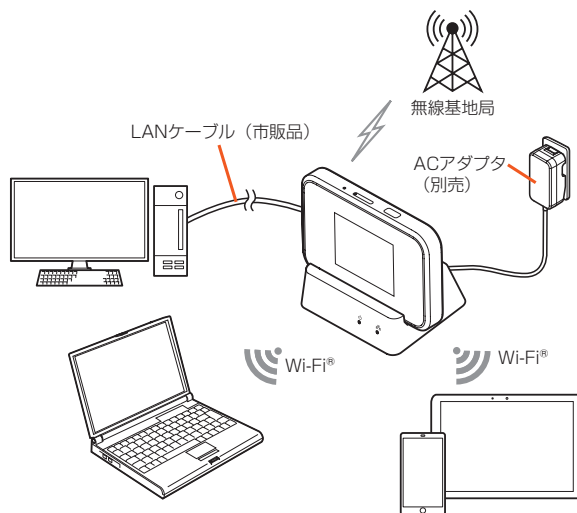
- 接続方法について詳しくは、「USB接続する」(▶P.38)をご参照ください。



指定のクレードル(別売)にLANケーブル(市販品)で接続する

クレードル(別売)にLANケーブル(市販品)でパソコンなどと接続し、データ通信ができます。また、無線LAN(Wi-Fi®)接続と有線LAN接続を同時に利用することもできます。

- クレードル(別売)は、指定のACアダプタ(別売)を使って、コンセントに接続してお使いください。指定のACアダプタ(別売)について詳しくは、「周辺機器」(▶P.57)をご参照ください。
- 接続方法について詳しくは、「指定のクレードル(別売)にLANケーブル(市販品)を接続して通信する」(▶P.40)をご参照ください。

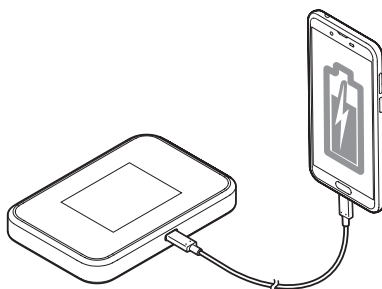


- ◎ 電波受信状況やアクセス集中、コンテンツの容量などによっては、正常な通信が行えない場合があります。また、接続機器によっては通信などが正常に動作しない場合があります。
- ◎ ネットワークへの接続は、その時点で快適に使えるネットワークを自動的に判別して接続します。
- ◎ 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。

本製品の便利な機能

モバイル給電対応

USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とお使いのスマートフォン、タブレットなどを接続して充電することができます。詳しくは、「モバイル給電をする」(▶P.16)をご参照ください。



QRコードとWPS接続

本製品のディスプレイにQRコードを表示して、スマートフォンなどのカメラで読み取ると簡単に無線LAN(Wi-Fi®)接続をすることができます。また、WPS接続に対応しているので、WPSキーによる無線LAN(Wi-Fi®)接続ができます。WPS機能のプッシュボタン方式に対応している無線LAN(Wi-Fi®)対応機器であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。

- 接続方法について詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)で接続する」(▶P.26)をご参照ください。

動作環境

Wi-Fi®接続できる機器について

無線LAN規格IEEE802.11a/n/ac(5GHz帯)、IEEE802.11b/g/n(2.4GHz帯)に対応している無線LAN(Wi-Fi®)対応機器と接続できます。

USB接続できる機器について

対応しているOSは以下のとおりとなります。

- Windows 10(32ビット/64ビット)
- Windows 8.1*(32ビット/64ビット)
- macOS Mojave 10.14.3(64ビット)
- macOS High Sierra 10.13.6(64ビット)
- macOS Sierra 10.12.6(64ビット)

※Windows RTは非対応となります。

本製品の設定を変更できる機器について

対応しているOS*1は以下のとおりとなります。

- Windows 10(32ビット/64ビット)
- Windows 8.1*2(32ビット/64ビット)
- macOS Mojave 10.14.3(64ビット)
- macOS High Sierra 10.13.6(64ビット)
- macOS Sierra 10.12.6(64ビット)
- Android™*3
- iOS*3

※1

対応OSは日本語版となります。OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証していません。

※2 Windows RTは非対応となります。

※3 すべてのメニュー項目/設定項目は表示されません。すべての項目を表示させるには「PC表示」をタップしてください。詳しくは、「設定ツール」(▶P.58)をご参照ください。

基本操作

基本操作	22
タッチパネルの使いかた	22
ディスプレイの表示について	22
基本的な操作	23
Webブラウザを利用して設定する	24

基本操作

タッチパネルの使いかた

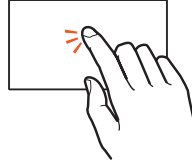
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護フィルムやシールなどを貼っての操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作

■ タップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。

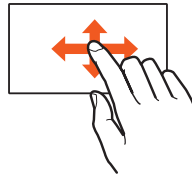
- 画面に表示された項目やアイコンを選択します。



■ スライド／スワイプ

画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。



ディスプレイの表示について

ホーム画面には以下の情報が表示されます。



① ステータスアイコン表示エリア

② データ通信量

- 利用したデータ通信量の詳細が表示されます。また、ロック画面とホーム画面に表示するデータ通信量の表示について設定できます。
- 詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)で接続する」(▶P.26)をご参照ください。

③ 接続リスト

- 本製品に接続中の機器の台数を確認できます。

④ 接続ガイド

- 画面の指示に従って操作すると、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を接続できます。
- 詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)で接続する」(▶P.26)をご参照ください。

⑤ モバイル給電

- モバイル給電について設定します。
- 詳しくは、「モバイル給電をする」(▶P.16)をご参照ください。

⑥ 端末情報

- 本製品に関する情報を確認できます。

⑦ 設定

- 本製品の各機能を設定できます。
- 詳しくは、「設定」(▶P.42)をご参照ください。

◎ 通信量は本製品側でカウントしているため、カウントするデータ量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なることがあります。

アイコンについて

ステータスアイコン表示エリアには電波状態や電池残量など本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電波の強さ(受信電界) ~ : レベル表示 ・国際ローミング中は、電波マークの左上に「R」が小さく表示されます。
	ハイスピード/ハイスピードプラスエリア ・通信中はアイコンの右にが表示されます。 ・圏外の場合は、「圏外」が表示されます。 ・アイコンの右にネットワーク名が表示されます。 ・au ICカードが未挿入の場合は「No SIM」が表示されます。
	インターネット接続/切断表示
	ソフトウェア更新中表示
	DFSチェック表示
	モバイル給電表示
	電池レベル状態 ~ : 残量表示 : 充電エラー ・充電中は電池マークに↑が重なって表示されます。 ・電池マークの左に電池残量が%で表示されます。

メッセージ表示について

本製品では、通信状態や異常の情報をメッセージによってお知らせします。

表示	説明
パスワードが一致しません	「画面ロック」の「新しいパスワードを入力」と「新しいパスワードを再入力」が異なります。正しいパスワードを入力してください。
SIMカードを挿入してください	au ICカードが挿入されていない場合に表示されます。
PUKを入力してください	PINコードがロックされた場合に表示されます。
PINロック解除コード(PUK)の入力回数が最大数に達しました。お近くのauショップまでご来店ください。	PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合に表示されます。
本製品が日本国内にないため、5GHzモードは使用できません	海外で5GHzモードに切り替えた場合に表示されます。
5GHzモードは使用できません。2.4GHzモードに切り替えてください。	5GHzモードが使用できない場合に表示されます。
5GHzモードは使用できません	5GHzモードが使用できない場合に表示されます。
SIMカードが挿入されていないため、5GHzモードは使用できません	au ICカードが挿入されていない状態で、5GHzモードに切り替えた場合に表示されます。
外部接続端子部が高温です。ケーブルを抜いてください。	外部端子が高温になった場合表示されます。
給電エラー	モバイル給電時にエラーが発生した場合に表示されます。
データ通信量が制限に達しました	設定したデータ通信量に達した場合に表示されます。
レーダーを検出したため、5GHzモードは次回電源オンから30分間使用できません。	DFS機能によりレーダーを検出した場合に表示されます。
レーダーを検出して電源オフしたため、5GHzモードは30分間使用できません。5GHzモードを使用する場合は、30分後に再度設定してください。	DFS機能によりレーダーを検出後、再度電源を入れた場合に表示されます。
本体が高温になっているため通信を制限しています。さらに高温が続く場合、シャットダウンすることがあります。	本体が高温になった場合に表示されます。
本製品を再起動する必要があります。再起動します。	再起動が必要な場合に表示されます。

基本的な操作

■ 前の画面に戻る場合

画面左上のをタップします。



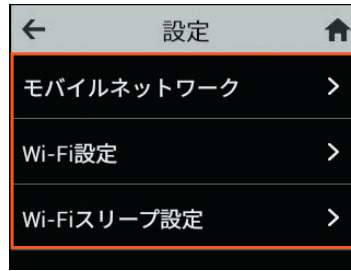
■ ホーム画面に戻る場合

画面右上のをタップします。

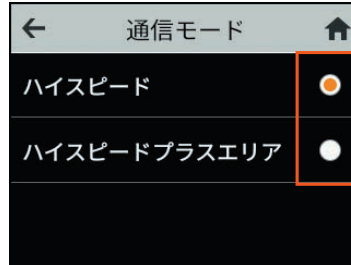


■項目を選択する場合

選択する項目をタップします。



○/○が表示されている場合は○をタップして選択します。



ON ● / OFF ○が表示されている場合は ON ● をタップして「OFF」に、OFF ○ をタップして「ON」に切り替えます。



■数字を入力する場合

入力先によって、数字キーボードが表示されます。



- ① 入力欄
カーソルの位置に数字を入力できます。
パスワードなどを入力した場合は「●」が表示されることがあります。
- ② キーボード
数字を入力するキーボードです。
- ③ 削除キー
カーソルの左側の数字を消します。

Webブラウザを利用して設定する

本製品と接続したパソコンおよび携帯端末から、Webブラウザを利用して本製品の各種機能を設定できます。設定方法について詳しくは、「設定ツールについて」(▶P.44)をご参照ください。



無線LAN(Wi-Fi®)接続／USB接続

無線LAN(Wi-Fi®)接続／USB接続.....	26
無線LAN(Wi-Fi®)で接続する.....	26
USB接続する.....	38

無線LAN(Wi-Fi®)で接続する

■ 無線LAN初期設定シールについて

無線LAN(Wi-Fi®)を利用して、本製品とパソコンやスマートフォン、タブレットなどの無線LAN(Wi-Fi®)に対応した機器(以下、無線LAN(Wi-Fi®)端末と表記します)を接続するには、ネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の入力が必要となります。*

お買い上げ時の本製品に設定されているネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱されている無線LAN初期設定シールに記載されています(工場出荷時設定)。

お買い上げ時、および初期化後の本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する場合に必要となりますので、大切に保管してください。

* WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する場合は、ネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の入力は不要です。

■ 無線LAN(Wi-Fi®)機能について

本製品はIEEE802.11a/b/g/n/acの無線LAN(Wi-Fi®)規格に準拠しており、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末(パソコンやスマートフォン、タブレットなど)を無線LAN(Wi-Fi®)で接続して、データ通信ができます。

また、本製品はWPS(Wi-Fi Protected Setup)機能に対応しており、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末がWPS機能に対応している場合は、少ない操作で無線LAN(Wi-Fi®)接続ができます。

WPS機能に対応していない無線LAN(Wi-Fi®)端末でも、本製品に設定されたSSIDと暗号化キー(パスワード)を入力するだけで簡単に接続することができます。

本製品のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱の無線LAN初期設定シール、または「SSID情報」(▶P.28)で確認できます。なお、本製品の工場出荷時状態におけるネットワーク名(SSID)は、「SPWN_S31_XXXXXX_a」および「SPWN_S31_XXXXXX_b」で表示されます(XXXXXXはMACアドレス下6文字)。お客様が変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線LAN(Wi-Fi®)ネットワークですので接続しないよう注意してください。

ここでは、本製品とスマートフォン、iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini、Windows/パソコン、Mac、WPS対応機器を初めて無線LAN(Wi-Fi®)接続する場合の操作について説明しています。

- ◎ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名(SSID)および暗号化キー(パスワード)を変更してお使いいただくことをおすすめします。変更のしかたは「Wi-Fi設定」(▶P.48)をご参照ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)接続のための設定は、本製品と各無線LAN(Wi-Fi®)端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線LAN(Wi-Fi®)端末は、2回目以降、自動的に接続が再開されます(無線LAN(Wi-Fi®)端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)端末は無線LAN(Wi-Fi®)接続の設定を行うと、周辺に設定済みの接続可能なWi-Fi®ネットワークがあると、自動的にWi-Fi®ネットワークに接続されます。周辺に設定済みの接続可能なWi-Fi®ネットワークが複数ある場合は、最後に設定したWi-Fi®ネットワークに接続されます。
- ◎ 本製品は無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を同時に10台まで接続できます。
- ◎ 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。
- ◎ 必要に応じて、無線LAN(Wi-Fi®)機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「設定ツールについて」(▶P.44)をご参照ください。
- ◎ 本製品の「SSIDステルス」が「有効」になっていると無線LAN(Wi-Fi®)端末で本製品を検出できません。詳しくは、「Wi-Fi設定」(▶P.48)をご参照ください。
- ◎ 通信の安全性を高めるためには、セキュリティ(暗号化方式)は「WPA2/WPA」で設定することをおすすめします。ただし、一部の無線LAN(Wi-Fi®)端末などで、無線LAN(Wi-Fi®)のセキュリティ(暗号化方式)が「WPA2/WPA」に対応していない場合は、「WEP」で無線LAN(Wi-Fi®)接続する必要があります。セキュリティ(暗号化方式)について詳しくは、「Wi-Fi設定」(▶P.48)をご参照ください。

■ 5GHz帯の使用について

■ DFS機能

本製品は無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯での電波干渉を避けるため、法令(電波法)により、DFS機能を搭載しています。本製品が利用する無線LAN(Wi-Fi®)5GHzの周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。

そこで、本製品が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS機能が作動し、電波干渉を起こさない無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。

周囲に同じ無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を使っている無線LAN(Wi-Fi®)端末などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなる場合があります。

■ DFSチェックについて

無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用して、屋外で本製品を使用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがないかを最低でも1分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFSチェック」と呼びます。本製品を無線LAN(Wi-Fi®)2.4GHz帯から無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯に切り替えたときや、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯の設定で本製品の電源を入れたとき、Wi-Fi®自動停止機能などで無線LAN(Wi-Fi®)機能が停止された状態から再開するときなどに、DFSチェックが作動します。DFSチェック中は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が一時的に停止され、無線LAN(Wi-Fi®)機能が再開するまでに1分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。本製品に接続している無線LAN(Wi-Fi®)端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線LAN(Wi-Fi®)端末側で再接続の操作を行ってください。5GHzから2.4GHzに切り替えるときは、DFSチェックは作動せず、ネットワーク接続は切断されません。

* DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

- ◎ ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯に対応しているかご確認ください。本製品では、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続することはできません。ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本製品の設定を2.4GHz帯にしてご利用ください。
- ◎ 周波数を「5GHz」に設定した場合、本製品の状態によって、その後の動作は以下のように異なります。
 - ① 内蔵電池による動作中:
屋外とみなし、W56を使用するためDFSチェックを実行します。
 - ② 指定のACアダプタ(別売)やパソコンから充電時:
本製品のディスプレイに約30秒間、使用場所の確認メッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
 - ・「屋内」:W56を使用します。DFSチェックは実行されません。
 - ・「屋外」(または操作しないで約30秒経過した場合):W56を使用するためDFSチェックを実行します。
 DFSチェック実行中は、本製品のディスプレイにDFS実行中のメッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
 - ・「キャンセル」:DFSチェックを中止して無線LAN(Wi-Fi®)2.4GHz帯で接続します。
 必要に応じて選択してください。選択せずに約1分間*経過するとDFSチェックが終了し、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯が利用可能になります。
 * DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

上記①②の状態が変更になった場合は、使用中のチャンネルに応じて以下のように動作します。

- ・ W56使用時:そのままW56を継続して使用(特別な操作は必要ありません)。
- ・ W52使用時:上記①②の状態に応じてメッセージを表示します。
- また、W56使用時に気象レーダーなどと干渉した場合は、再度DFSチェックが実行されます。
- ◎ 5GHzに切り替える方法については、「Wi-Fi設定」(▶P.42)をご参照ください。
- ◎ 以下の場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が再起動することがあります。
 - ・ 周波数の2.4GHzと5GHzを切り替えるとき
 - ・ Wi-Fi®の設定項目を変更するとき
 - ・ 通信モードの「ハイスピード」と「ハイスピードプラスエリア」を切り替えるとき

一般的な無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を接続する

ここでは、一般的な無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を例にして説明します。

■ WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能のプッシュボタン方式に対応している無線LAN(Wi-Fi®)対応機器であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- WPS機能を利用するには、本製品の「セキュリティ(暗号化方式)」を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)」に設定する必要があります。

■ 本製品での操作

1 電源ボタン(電源キー) (2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、Wi-Fi®アイコンが表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとWi-Fi®アイコンが表示されます。

■ 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器での操作

2 接続設定画面を表示し、必要に応じてWPS接続の準備操作を行う

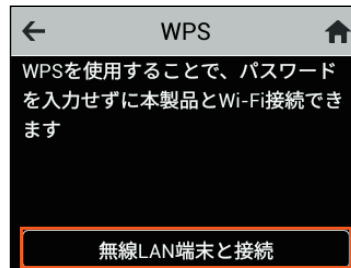
無線LAN(Wi-Fi®)対応機器によって操作方法が異なります。お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 本製品での操作

3 ホーム画面→[接続ガイド]→[WPS]



4 [無線LAN端末と接続]



■ 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器での操作

5 WPSボタンを押す

- 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器によって操作方法が異なります。お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本製品に「WPS接続が完了しました」と表示されたら設定完了です。

◎ WPS設定を利用した機器の接続中は、他の無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の通信が切断される場合があります。



◎ MACアドレスフィルタリングが設定された無線LAN(Wi-Fi®)対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

■ 本製品での操作

1 電源キー(2秒以上)

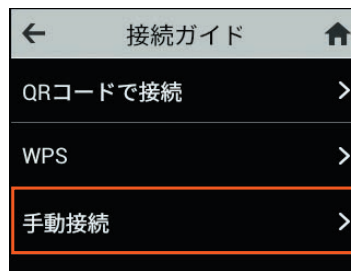
本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]



3 [手動接続]→接続するSSIDを選択

- 本製品のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- 「SSID B」を選択した場合は、「有効」を「ON」に設定してください。



■ 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器での操作

4 接続設定画面を表示し、アクセスポイントを検索する

- 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器でWi-Fi®機能を「ON」にしたり、「アクセスポイントに接続」や「検索する」などのメニューを選択したりすると、近くにあるアクセスポイントが一覧表示されます。
- 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器によって操作方法が異なります。お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の取扱説明書をご覧ください。

5 アクセスポイントの一覧から、本製品のSSIDが表示されている項目を選択する

6 パスワードを入力し、設定を保存する

- 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器によっては、セキュリティ(暗号化方式)の選択画面が表示されることがあります。本製品の「セキュリティ(暗号化方式)」に合わせて選択してください。「セキュリティ(暗号化方式)」の設定については、「Wi-Fi設定」(▶P.48)をご参照ください。

Windowsを接続する

ここでは、Windows 10とWindows 8.1の場合を例にして説明します。
詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

Windows 10

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。



WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本製品の「セキュリティ(暗号化方式)」を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)」に設定する必要があります。

■本製品での操作

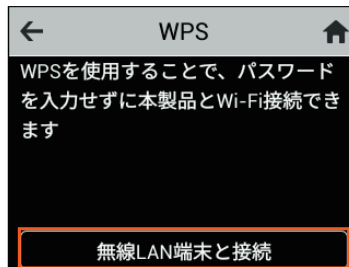
1 電源キー(電源キー)(2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]→[WPS]



3 [無線LAN端末と接続]

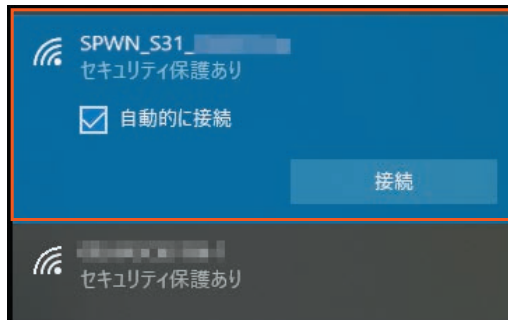


■パソコンでの操作

4 Wi-Fi®機能をONにする

5 タスクトレイのをクリック

6 本製品のSSIDを選択し、「自動的に接続」にチェックマークを付けて「接続」をクリック



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプをご参照ください。
- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本製品に「WPS接続が完了しました」と表示されたら設定完了です。



◎ WPS設定を利用した機器の接続中は、他の無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の通信が切断される場合があります。
◎ MACアドレスフィルタリングが設定された無線LAN(Wi-Fi®)対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

■ 本製品での操作

1 電源キー(2秒以上)

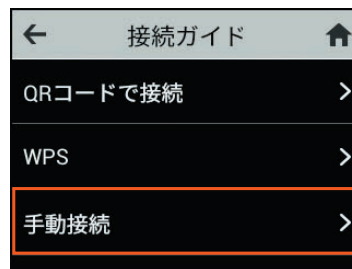
本製品の電源が入ります。Wi-Fi機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]



3 [手動接続]→接続するSSIDを選択

- 本製品のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- 「SSID B」を選択した場合は、「有効」を「ON」に設定してください。

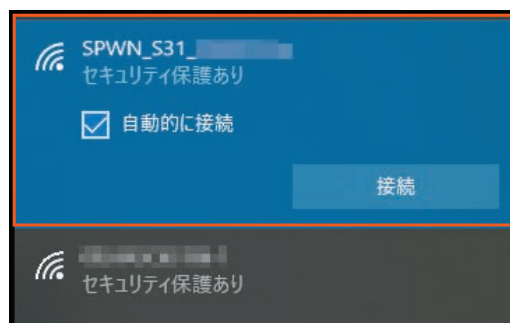


■ パソコンでの操作

4 Wi-Fi®機能をONにする

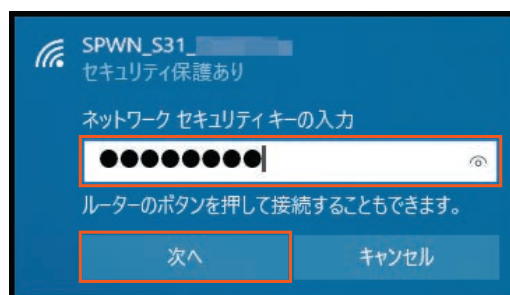
5 タスクトレイのをクリック

6 本製品のSSIDを選択し、「自動的に接続」にチェックマークを付けて「接続」をクリック



7 パスワードを入力し、「次へ」をクリック

パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプをご参照ください。



■ Windows 8.1

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。



■ WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本製品の「セキュリティ(暗号化方式)」を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)」に設定する必要があります。

■ 本製品での操作

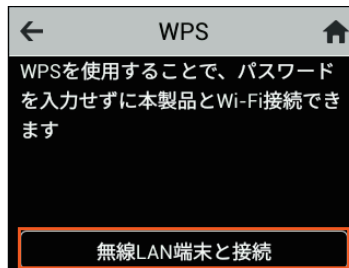
1 電源キー(2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]→[WPS]



3 [無線LAN端末と接続]



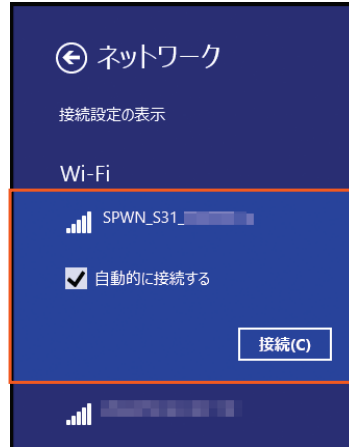
■ パソコンでの操作

4 Wi-Fi®機能をONにする

5 デスクトップ画面右上隅をマウスでポイントし、下向きに移動すると表示されるメニュー(チャーム)で (設定)をクリック

6 (利用可能)をクリック

7 本製品のSSIDを選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプをご参照ください。
- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本製品に「WPS接続が完了しました」と表示されたら設定完了です。



- ◎ WPS設定を利用した機器の接続中は、他の無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の通信が切断される場合があります。
- ◎ MACアドレスフィルタリングが設定された無線LAN(Wi-Fi®)対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

■ 本製品での操作

1 電源キー(2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]



3 [手動接続]→接続するSSIDを選択

- 本製品のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- 「SSID B」を選択した場合は、「有効」を「ON」に設定してください。



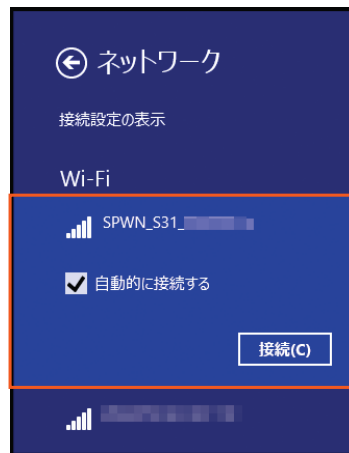
■ パソコンでの操作

4 Wi-Fi®機能をONにする

5 デスクトップ画面右上隅をマウスでポイントし、下向きに移動すると表示されるメニュー(チャーム)で (設定) をクリック

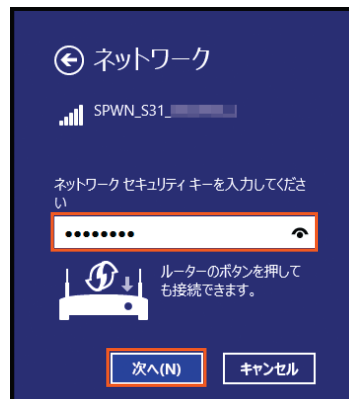
6 (利用可能) をクリック

7 本製品のSSIDを選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック



8 パスワードを入力し、「次へ」をクリック

パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプをご参照ください。





Macを接続する

ここでは、macOS Mojave 10.14.3の場合を例にして説明します。お使いのバージョンによって画面が異なる場合があります。

■本製品での操作

1 電源キー(2秒以上)

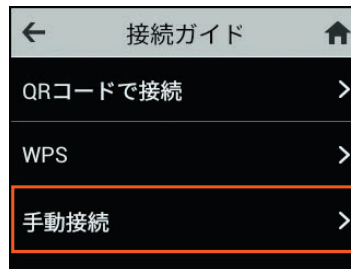
本製品の電源が入ります。Wi-Fi[®]機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]



3 [手動接続]→接続するSSIDを選択

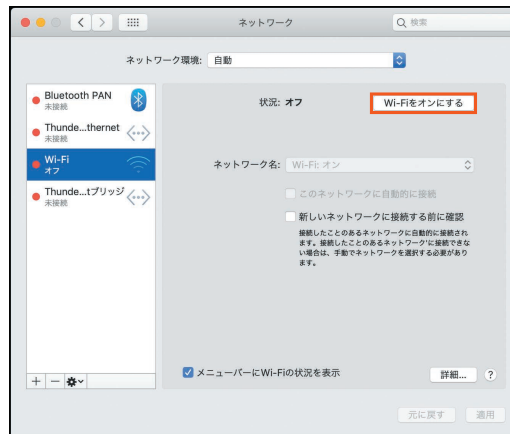
- 本製品のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- 「SSID B」を選択した場合は、「有効」を「ON」に設定してください。



■パソコンでの操作

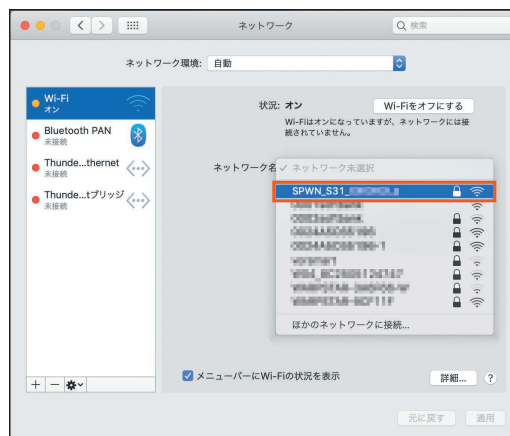
4 アップルメニューから「システム環境設定...」をクリックし、「ネットワーク」をクリック

5 「Wi-Fi」をクリックし、「Wi-Fiをオンにする」をクリックしてWi-Fi[®]機能をONにする

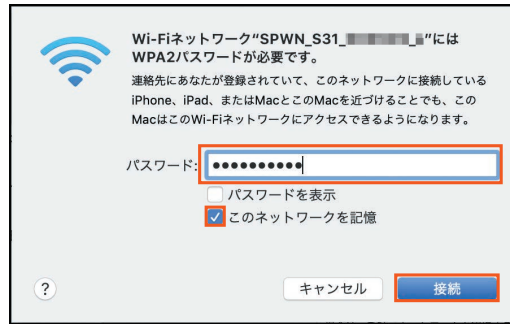


「新しいネットワークに接続する前に確認」にチェックが入っていると、Wi-FiをONにしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、「キャンセル」をクリックして「ネットワーク」の画面に戻ってください。

6 「ネットワーク名」のプルダウンリストから本製品のSSIDを選択する



7 パスワードを「パスワード」欄に入力し、「このネットワークを記憶」にチェックマークを付け、「接続」をクリック



Android搭載端末を接続する

お使いのAndroid搭載端末、Androidのバージョンによって操作および画面が異なります。詳しくは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

■ WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)



WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているAndroid搭載端末であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのAndroid搭載端末がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

ここでは、Android 8.1の場合を例にして説明します。

- WPS機能を利用するには、本製品の「セキュリティ(暗号化方式)」を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)」に設定する必要があります。

■ 本製品での操作

1 電源キー(2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

■ Androidでの操作

2 アプリケーション一覧画面→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

3 「Wi-Fiの使用」をONにする

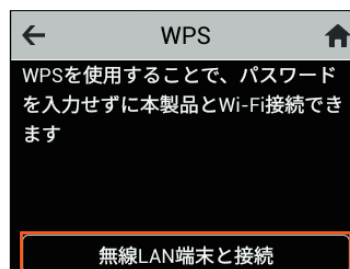
4 [Wi-Fi 設定]→[詳細設定]→[WPSプッシュボタン]

■ 本製品での操作

5 ホーム画面→[接続ガイド]→[WPS]



6 [無線LAN端末と接続]



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本製品に「WPS接続が完了しました」と表示されたら設定完了です。



- ◎ WPS設定を利用した機器の接続中は、他の無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の通信が切断される場合があります。
- ◎ MACアドレスフィルタリングが設定された無線LAN(Wi-Fi®)対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

お使いのAndroid搭載端末がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。ここでは、Android 10の場合を例にして説明します。

■ 本製品での操作

1 〇(⏻)(電源キー)(2秒以上)

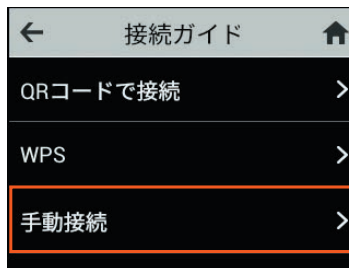
本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]



3 [手動接続]→接続するSSIDを選択

- 本製品のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- 「SSID B」を選択した場合は、「有効」を「ON」に設定してください。

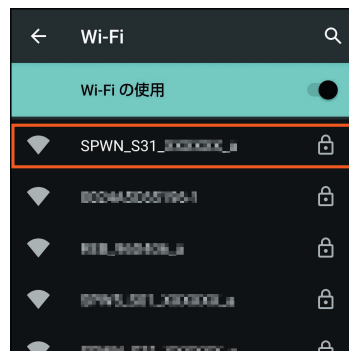


■ Androidでの操作

4 アプリケーション一覧画面→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

5 「Wi-Fiの使用」をONにする

6 一覧画面から本製品のSSIDをタップ



7 パスワードを正しく入力→[接続]



■ QRコードで接続する



本製品に表示したQRコードを無線LAN(Wi-Fi®)対応機器のカメラを利用して読み取ることで自動的に本製品と接続できます。

ここでは、Android 10の場合を例にして説明します。

・対応しているOSはAndroid 10以降になります。

■ 本製品での操作

1 電源キー(2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]→[QRコードで接続]

本製品にQRコードが表示されます。



■ Androidでの操作

3 アプリケーション一覧画面→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

4 「Wi-Fiの使用」をONにする

5 をタップ



6 カメラで、本製品に表示されているQRコードを読み取る→画面に従って操作する

本製品と接続されます。

◎ Android 9 Pie以前の機種ではご利用のAndroidスマートフォンにインストールされているQRコードリーダーで、Wi-Fi®設定を自動で設定できない場合があります。下記からQRコードリーダーをインストールしてください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/w07/peripherals/qrapl.html>



◎ おすすめのアプリでQRコードを読み取っても自動で本製品と接続できないときは、WPS機能を利用する、またはアクセスポイントを検索して接続してください。



■ iPhone/iPod touch/iPadを接続する

■ アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

ここでは、iPhone(iOS 12.3.1)を使用した場合を例にして説明します。

■ 本製品での操作

1 電源キー(2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]



3 【手動接続】→接続するSSIDを選択

- 本製品のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- 「SSID B」を選択した場合は、「有効」を「ON」に設定してください。



■ iPhoneでの操作

4 ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi]

5 「Wi-Fi」をONにする



6 一覧画面から本製品のSSIDをタップ



7 パスワードを正しく入力→[接続]





■ QRコードで接続する

本製品に表示したQRコードを無線LAN(Wi-Fi®)対応機器のカメラを利用して読み取ることで自動的に本製品と接続できます。ここでは、iPhone(iOS 12.3.1)を使用した場合を例にして説明します。

- 対応しているOSはiOS 11以降になります。

■ 本製品での操作

1 電源ボタン(電源キー)(2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面→[接続ガイド]→[QRコードで接続]

本製品にQRコードが表示されます。



■ iPhoneでの操作

3 カメラ機能を利用してQRコードを読み取る→画面に従って操作する



本製品と接続されます。

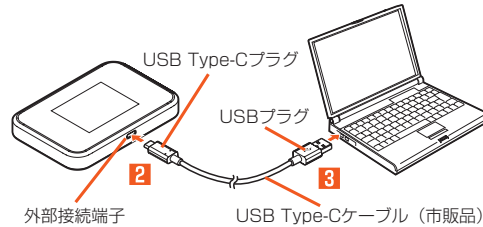
USB接続する

USB接続モードについて

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続し、データ通信ができます。また、Wi-Fi®接続とUSB接続を同時に利用することもできます。

パソコンに取り付ける

- 1** **□(⏻)(電源キー) (2秒以上)**
本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。
- 2** **USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品の外部接続端子に接続**
- 3** **パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSBプラグをパソコンのUSBポートに接続**
パソコンに接続すると、USB接続機能が起動し、自動的にインターネットに接続されます。データ通信により課金が発生しますのでご注意ください。



パソコンから取り外す

データ通信が終了していることを確認し、本製品を取り外してください。

- 1** **USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品とパソコンから水平に抜く**

- ◎ データ通信中にUSB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。
- ◎ 本製品をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ(サスペンド/レジューム/スリープ)、または休止(ハイバネーション)を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してスタンバイ、休止を行ってください。
- ◎ 本製品を取り付けた状態で再起動したり、電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

インターネット

インターネット.....	40
インターネットに接続する.....	40
通信モードを切り替える.....	40
指定のクレードル(別売)にLANケーブル(市販品)を接続して通信する.....	40

インターネット

インターネットに接続する

本製品は、無線LAN(Wi-Fi®)接続、USB接続または有線LAN接続した端末からWiMAX 2+方式だけでなく、LTE、UMTS方式を使ってインターネット接続してデータ通信が行えます。

◎ 本製品の通信は、すべてベストエフォート方式です。接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。

通信モードを切り替える

インターネット接続中に受信レベルが不安定になったり圏外になったりしたときなど、通信モードを切り替えると安定した受信レベルでの通信ができる場合があります。

	WiMAX 2+	LTE	UMTS*
ハイスピード	○	—	—
ハイスピードプラスエリア	○	○	○

* 国際ローミング中

1 ホーム画面→[設定]→[モバイルネットワーク]→[通信モード]

2 [ハイスピード]／[ハイスピードプラスエリア]

[ハイスピードプラスエリア]を選択した場合は確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「はい」をタップしてください。

◎ お買い上げ時は、「ハイスピード」に設定されています。「ハイスピードプラスエリア」に切り替えるとお客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。

指定のクレードル(別売)にLANケーブル(市販品)を接続して通信する

本製品をクレードル(別売)に接続することで、有線ルータ(1000BASE-T対応)として使用できます。ご利用のパソコンなどEthernetポート搭載機器をLANケーブル(市販品)で本製品と接続し、有線LAN接続でインターネットに接続できます。

クレードル(別売)に接続する場合は、製品に付属されている取扱説明書をあわせてご覧ください。

ここではクレードル(別売)とTypeC共通ACアダプタ02(別売)、LANケーブル(市販品)を接続して通信する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)について詳しくは、「周辺機器」(▶P.57)をご参照ください。

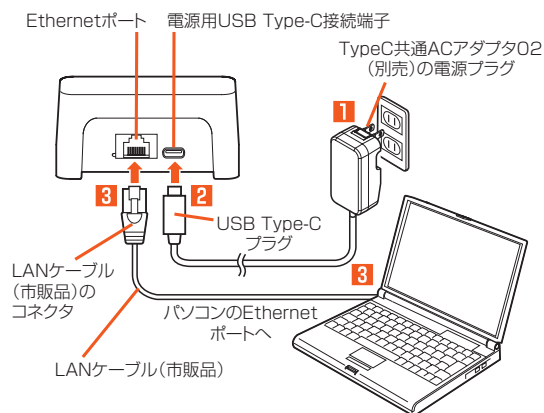
・クレードル(別売)は、必ず指定のACアダプタ(別売)を使って、コンセントに接続してお使いください。

・クレードル(別売)使用時は、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を同時に接続できます。



1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む

2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを、クレードル(別売)の電源用USB Type-C接続端子に水平に差し込む
クレードル(別売)の電源ランプが点灯します。

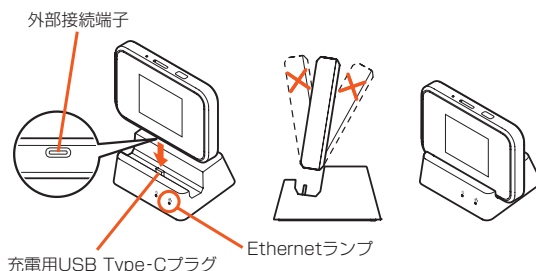
3 LANケーブル(市販品)のコネクタを、それぞれクレードル(別売)のEthernetポートとパソコンのEthernetポートに差し込む
LANケーブル(市販品)のコネクタの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。



4 〇(電源キー)(2秒以上)

本製品の電源が入ります。Wi-Fi®機能が「ON」になり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

5 本製品の外部接続端子を下にして、クレードル(別売)の充電用USB Type-Cプラグに対し、まっすぐ接続する
クレードル(別売)のEthernetランプが点灯します。



◎ 無理に差し込んだり抜いたりすると、電源用USB Type-C接続端子や充電用USB Type-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

◎ 本製品はLAN側への接続のみに対応しております。WAN側へ利用することはできません。

機能設定

機能設定	42
本製品のタッチメニューについて	42
設定ツールについて	44
接続端末	45
ネットワーク	46
設定	46
端末情報	50

機能設定

本製品のタッチメニューについて

本製品のタッチメニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本製品のタッチメニューでは一部の機能を設定できません。パソコンから設定ツールを利用するとすべての機能を設定できます。詳しくは、「設定ツールについて」(▶P.44)をご参照ください。
- 設定範囲や初期値について詳しくは、「メニュー項目/設定項目一覧」(▶P.58)をご参照ください。



項目	概要	参照先
データ通信量	本製品で通信したモバイルネットワークのデータ通信量を確認できます。また、ロック画面やホーム画面に表示するデータ通信量を設定したり、本製品で通信するデータ量の上限を設定したりすることができます。	P.42
接続リスト	本製品に接続している機器の一覧を表示します。	—
端末情報	本製品の情報を確認できます。	—
接続ガイド	画面の指示に従って操作すると、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を接続できます。	P.26
モバイル給電	モバイル給電について設定します。	P.16
設定	各種機能の詳細設定をします。	P.42

データ通信量

データ通信量表示

- 1 ホーム画面→[データ通信量]→[データ通信量設定]→[データ通信量表示]
- 2 [1ヶ月]/[3日]/[表示しない]

◎ 通信量は本製品側でカウントしているため、カウントするデータ量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なることがあります。

設定(1ヶ月)

- 1 ホーム画面→[データ通信量]→[データ通信量設定]→[設定(1ヶ月)]

2	ハイスピード	ハイスピードの通信量表示について「ON」/「OFF」を設定します。
	ハイスピードプラスエリア	ハイスピードプラスエリアの通信量表示について「ON」/「OFF」を設定します。
	自動リセット日(毎月)	データ通信量を自動でリセットする日付を設定します。
	最大通信量	当月使用するデータ通信量の上限を設定できます。 • 「GB」/「MB」をタップして単位を切り替えることができます。

◎ 「自動リセット日(毎月)」を「31」に設定した場合、翌月1日の午前0時にリセットされます。

設定(3日)

- 1 ホーム画面→[データ通信量]→[データ通信量設定]→[設定(3日)]

2	ハイスピード	ハイスピードの通信量表示について「ON」/「OFF」を設定します。
	ハイスピードプラスエリア	ハイスピードプラスエリアの通信量表示について「ON」/「OFF」を設定します。
	最大通信量	本日までの3日間に使用するデータ通信量の上限を設定できます。 • 「GB」/「MB」をタップして単位を切り替えることができます。

リセット

モバイルネットワークを利用したデータ通信量のカウントをリセットできます。

- 1 ホーム画面→[データ通信量]→[データ通信量設定]
- 2 [リセット]

設定

各種機能の詳細設定をします。

モバイルネットワーク

モバイルネットワークで使用する通信モードや国際ローミングなどを設定します。

- 1 ホーム画面→[設定]→[モバイルネットワーク]

2	通信モード	利用する通信モードを設定します。
	APNプロファイル選択	APNプロファイルを選択します。
	国際ローミング	国際ローミングについて詳しくは、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.52)をご参照ください。

Wi-Fi設定

Wi-Fi®機能の「ON」/「OFF」や利用する周波数帯を設定します。

- 1 ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi設定]

2	Wi-Fi	本製品のWi-Fi®機能の「ON」/「OFF」を設定します。
	Wi-Fiモード	利用する周波数帯を設定します。

◎ au ICカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は、「Wi-Fiモード」を「5GHz」に設定できません。

■ Wi-Fiスリープ設定

無線LAN(Wi-Fi®)対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi®機能を自動的に「OFF」にするか設定します。

1 ホーム画面→[設定]→[Wi-Fiスリープ設定]

2	Wi-Fiスリープ設定	スリープモードを利用するか設定します。
	オフまでの時間	「Wi-Fiスリープ設定」が「ON」に設定されている場合に、Wi-Fi®機能を自動的に「OFF」にするまでの時間を設定します。

◎ 以下の場合、スリープモードになりません。

- ・画面点灯中
- ・指定のACアダプタ(別売)や指定のクレードル(別売)での充電中
- ・パソコンなどとUSB接続中
- ・指定のクレードル(別売)を利用して有線LAN接続中
- ・モバイル給電中

■ 4×4MIMO設定

「ON」に設定すると、アンテナ設定を変更し通信速度が向上します。ただし、より多くの電力を消費します。

1 ホーム画面→[設定]→[4×4MIMO設定]

2 [4×4MIMO設定]の ON OFF

■ 画面ロック

ディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除時にパスワード入力が必要にするか設定します。

1 ホーム画面→[設定]→[画面ロック]

2 「ロック」の ON OFF

- ・設定を変更した場合は、画面に従って4桁の現在のパスワード/新しいパスワードを入力し、「OK」をタップします。
- ・「ON」に設定している場合は、「パスワード変更」をタップし画面に従って4桁の現在のパスワード/新しいパスワードを入力し、「OK」をタップします。

■ 画面設定

ディスプレイの明るさや何も操作しなかった場合の画面点灯時間を設定します。

1 ホーム画面→[設定]→[画面設定]

2	画面の明るさ	本製品のディスプレイの明るさをバーをスライドして調整します。
	画面点灯時間	本製品のディスプレイを何も操作しなかった場合に消灯するまでの時間を設定します。

■ Language Setting

ディスプレイに表示する言語を設定します。

1 ホーム画面→[設定]→[Language Setting]

2	日本語	表示言語を日本語に設定します。
	English	表示言語を英語に設定します。

■ 時刻設定

現在日時について設定します。

1 ホーム画面→[設定]→[時刻設定]

2	タイムゾーン自動設定	自動選択するか設定します。「OFF」に設定した場合は、「タイムゾーン選択」で利用するタイムゾーンを選択します。
	24時間表示を使う	時刻表示を24時間制で表示するか設定します。

■ ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について詳しくは、「ソフトウェアを更新する」(▶P.56)をご参照ください。

■ USBモード

USB通信規格を設定します。

1 ホーム画面→[設定]→[USBモード]

2 現在の設定値(「USB 2.0」/「USB 3.0」)をタップ

3	USB 2.0	USB2.0で接続します。
	USB 3.0	USB3.0で接続します。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ 「USB3.0」で接続中に通信が不安定になる場合は、USBモードを「USB2.0」に切り替えると安定した通信ができることがあります。

■ クイック起動

「ON」に設定すると、次回電源を入れた際に起動までの時間を短くします。ただし、電源を切っている状態でもより多くの電力を消費します。

1 ホーム画面→[設定]→[クイック起動]

2 「クイック起動」の ON OFF

■ WebUIアクセス

設定ツール画面の表示方法を確認できます。

- ・設定ツールについて詳しくは、「設定ツールについて」(▶P.44)をご参照ください。

1 ホーム画面→[設定]→[WebUIアクセス]

設定ツール接続用のURLおよびQRコードが表示されます。

■ 電池性能表示

本製品の内蔵電池の状態が確認できます。

1 ホーム画面→[設定]→[電池性能表示]

◎ 表示される内容は目安です。

設定ツールについて

本製品と接続したパソコンおよび携帯端末から、Webブラウザを利用して本製品の各種機能を設定できます。

ここではパソコンとWi-Fi®接続した場合を例にして説明します。お使いのOSやWebブラウザによって画面が異なる場合があります。

- 本製品との接続方法について詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)接続/USB接続」(▶P.26)をご参照ください。
- 設定ツール利用時は本製品の画面を消灯してください。設定ツール利用中にタッチパネルのロック画面以外の画面を表示すると、設定が中断され、ログアウトする場合があります。
- 本製品の画面を消灯した直後は設定ツールにログインできない場合があります。しばらく待ってからログインしてください。
- Wi-Fi®で接続したパソコンおよび携帯端末から、設定ツールで「MACアドレスフィルタリング」や「Wi-Fi設定」の設定内容を変更すると、Wi-Fi®の接続が切断されることがあります。再接続するにはパソコンおよび携帯端末の設定変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。
- USB接続ケーブルを利用したUSB接続や指定のクレードル(別売)を利用した有線LAN接続でも、設定ツールを利用することができます。
- 同時に複数のパソコンおよび携帯端末で設定ツールにログインすることはできません。
- 本製品でも一部の機能を設定できます。詳しくは、「本製品のタッチメニューについて」(▶P.42)をご参照ください。
- 「SSID B」にWi-Fi®接続しているパソコンや携帯端末から、設定ツールを表示する場合は「Web UIへのアクセス」を「許可」に設定してください。詳しくは、「基本設定」(▶P.48)をご参照ください。
- 設定範囲や初期値について詳しくは、「メニュー項目/設定項目一覧」(▶P.58)をご参照ください。

対応するWebブラウザ

本製品は以下のWebブラウザに対応しています。

■ Windowsの場合

- Windows 8.1/32ビット・64ビット:Microsoft Internet Explorer 11以上*
- Windows 10/32ビット・64ビット:Microsoft Edge 44以上, Microsoft Internet Explorer 11以上*
- Google Chrome™ 43以上

* 対応するMicrosoft Internet ExplorerやMicrosoft Edgeのバージョンでも、ドキュメントモードが古いモードの場合は、表示が崩れることなどがあります。ドキュメントモードが最新となっているかをご確認ください。ドキュメントモードの詳細については、マイクロソフト社にお問い合わせください。

■ Macの場合

- Safari 9.0以上
- Google Chrome 43以上

■ Android搭載端末の場合

- Google Chrome 43以上

■ iPhone/iPod touch/iPadの場合

- Safari 9.0以上

設定ツールを表示する

1 パソコンを起動し、本製品と接続

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://(本製品のホストIPアドレス)」または「http://web.setting」と入力

- 本製品のお買い上げ時の「ホストIPアドレス」は、「192.168.128.1」に設定されています。詳しくは、「DHCPサーバー」(▶P.46)をご参照ください。
- 設定ツール画面の「ホーム」が表示されます。

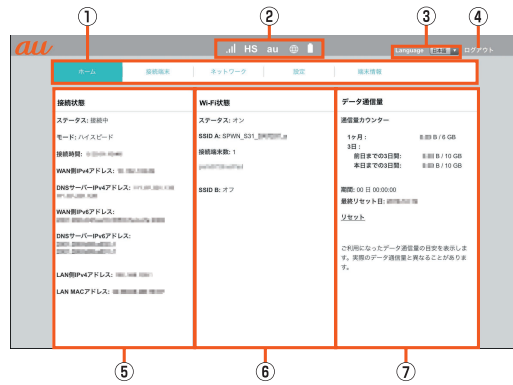
3 「ログイン」をクリック→パスワードを入力→「ログイン」をクリック

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- お買い上げ時のパスワードはIMEI情報(端末識別番号)の下6桁に設定されています。
- IMEI情報(端末識別番号)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
ホーム画面→[端末情報]
- パスワードをIMEI情報(端末識別番号)の下6桁でご利用いただくと、ログインするたび、パスワード変更のメッセージが表示されます。画面に従って必ず変更いただき、他人に知られないように十分ご注意ください。8~32文字までの半角英小文字、半角英大文字、数字、記号(「!」「@」「#」「\$」「%」「&」「*」「+」「-」「=」「>」「?」を除く)を含めたパスワードを登録できます。
- ログアウト:設定ツール画面→「ログアウト」をクリック

◎ 約5分間操作がない場合は自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

設定ツール画面のみかた

設定ツールのホーム画面には、各機能の設定／情報画面やアイコンメニューが表示されます。



- ① 設定メニュー
- ② ステータスアイコン表示エリア
- ③ Language
表示言語を切り替えます。
- ④ ログイン／ログアウト
- ⑤ 接続状態
接続ネットワークや接続時間、各種アドレスなどを表示します。
- ⑥ Wi-Fi状態
各SSIDに接続している機器の台数などを表示します。
- ⑦ データ通信量
利用したデータ通信量が表示されます。データ通信量の上限や最後にリセットしたときから経過した時間、最終リセット日も確認できます。

◎ 通信量は本製品側でカウントしているため、カウントするデータ量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なることがあります。

アイコンについて

ステータスアイコン表示エリアには電波状態や電池残量など本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電波の強さ(受信電界) : レベル表示 ・国際ローミング中は、電波マークの左上に「R」が小さく表示されます。
	ハイスピード／ハイスピードプラスエリア ・アイコンの右にネットワーク名が表示されます。
	インターネット接続／切断表示
	電池レベル状態 ・充電中は電池マークに↑が重なって青色で表示されます。

接続端末

MACアドレスフィルタリング(接続を許可する無線LAN(Wi-Fi®)対応機器をMACアドレスによって制限する機能)について設定します。

- ・MACアドレスフィルタリングを利用する場合は、必ず接続を許可する無線LAN(Wi-Fi®)対応機器のMACアドレスを追加して、「有効」に設定してください。設定ツール画面を表示している無線LAN(Wi-Fi®)対応機器が許可対象になっていない場合は、接続が拒否され、設定を変更できなくなります。

MACアドレスを追加する

「MACアドレスフィルタリング」を「有効」に設定している場合に接続を許可する「MACアドレス」を設定します。

- 1 設定ツール画面→「接続端末」をクリック
接続端末画面が表示され、現在接続中の端末の情報が一覧表示されます。
 - ・ホスト名を変更: をクリック→内容を編集→「OK」をクリック(64文字までの半角英数字と記号(「-」「_」のみ)が使用できます。)
 - ・「MACアドレスフィルタリング」にMACアドレスを追加: →「OK」を順にクリック
- 2 「MACアドレスフィルタリング」をクリック
- 3 「追加」をクリック
- 4 「説明」欄／「MACアドレス」欄を入力
接続を許可する無線LAN(Wi-Fi®)対応機器のMACアドレスを10件まで登録できます。
- 5 「OK」→「OK」を順にクリック
追加したMACアドレスは一覧表示されます。
 - ・追加したMACアドレスを編集: をクリック→内容を編集→「OK」→「OK」を順にクリック
 - ・追加したMACアドレスを削除: →「OK」を順にクリック

MACアドレスフィルタリングの有効／無効を切り替える

- 1 設定ツール画面→「接続端末」→「MACアドレスフィルタリング」を順にクリック
- 2 「MACアドレスフィルタリング」の「有効」／「無効」をクリック
- 3 「適用」をクリック

ネットワーク

モバイルネットワーク

通信モードや通信事業者を設定します。

■ ネットワーク設定

モバイルネットワークで使用する通信モードや通信事業者を設定します。

1 設定ツール画面→「ネットワーク」→「ネットワーク設定」を順にクリック

2	通信モード	通信モードを選択します。
	ネットワーク検索	通信事業者の検索方法を設定します。 ・通信事業者を手動で設定する方法については、「通信事業者を設定する」(▶P.52)をご参照ください。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示された場合は内容を確認し、「OK」を選択してください。

■ ローミング設定

国際ローミングを「有効」にするか設定します。

1 設定ツール画面→「ネットワーク」→「ローミング設定」を順にクリック

2 「有効」/「無効」をクリック

3 「適用」→「OK」を順にクリック

APN プロファイル設定

APN(アクセスポイント名)を設定します。

1 設定ツール画面→「ネットワーク」→「APN プロファイル設定」を順にクリック

現在接続中のAPNプロファイルが表示されます。

2 「現在のプロファイル」で利用するAPNプロファイルを選択

- ・「新規」をクリックすると、APNプロファイルを追加できます。ただし、「APN名」を追加済みのAPNプロファイルと同じ内容で追加することはできません。
- ・追加したAPNプロファイルを本製品で利用する場合は、「現在のプロファイル」で利用するAPNプロファイルを選択し「適用」→「OK」を順にクリックしてください。
- ・追加したAPNプロファイルを「現在のプロファイル」で選択すると登録内容が表示されます。「編集」、「削除」をクリックすると、APNプロファイルの編集、削除ができます。ただし、お買い上げ時に登録されている「INTERNET」の編集、削除はできません。

3 「適用」→「OK」を順にクリック

- ・「現在のプロファイル」でAPNプロファイルを変更した場合は、本製品が自動的に再起動します。

PIN管理

au ICカードのPINコードについて設定します。PINコードについて詳しくは、「PINコードについて」(▶P.9)をご参照ください。

1 設定ツール画面→「ネットワーク」→「PIN管理」を順にクリック

2	PINロック	電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護するか設定します。
	PIN	「PINロック」の設定を変更するときにPINコードを入力します。

3 「適用」をクリック

■ PIN変更

PINコードを変更します。

- ・「PINロック」を「有効」に設定しているときのみ、PINコードを変更できます。

1 設定ツール画面→「ネットワーク」→「PIN管理」を順にクリック

2 「PIN変更」をクリック

3 「現在のPINを入力」、「新しいPINを入力」、「新しいPINを再入力」欄をそれぞれ入力

4 「OK」をクリック

設定

LAN設定

DHCPサーバー(LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる)機能やファイアーウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)などを設定します。

■ DHCPサーバー

DHCPサーバー(LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる)機能を設定します。

1 設定ツール画面→「設定」→「DHCPサーバー」を順にクリック

2	ホストIPアドレス	本製品のホストIPアドレスを設定します。
	ホストサブネットマスク	ホストサブネットマスクを設定します。
	DHCPサーバー	DHCP機能の「有効」/「無効」を設定します。
	DHCP範囲	無線LAN(Wi-Fi®)対応機器に割り当てる開始と終了のIPアドレスを設定します。
	リース時間(分)	IPアドレスのリースタイムを設定します。
	DNS設定	DNS機能の種別を設定します。
	プライマリDNS	プライマリDNSを設定します。
	セカンダリDNS	セカンダリDNSを設定します。

3 「適用」をクリック

■ ファイアーウォール

ファイアーウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)を設定します。

1 設定ツール画面→「設定」→「ファイアーウォール」を順にクリック

2	IPアドレスフィルタリング	IPアドレスフィルタリングによるファイアーウォール機能の「有効」/「無効」を設定します。
	WANポートPINGブロック	WANポートPINGブロックによるファイアーウォール機能の「有効」/「無効」を設定します。

3 「適用」をクリック

■ IPアドレスフィルタリング

インターネットとの通信について、設定したルールに従い、LAN側(送信側)とWAN側(送信先)の各アドレスからファイアーウォールを通過させるかどうかを判断します。

1 設定ツール画面→「設定」→「IPアドレスフィルタリング」を順にクリック

2 「フィルターモード」の「拒否」/「許可」をクリック

3 「適用」をクリック

4 「ルールを追加」をクリック



5	LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信側)端末のIPアドレスを設定します。
	LANポート	ルールを適用するLAN側(送信側)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。*
	WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)端末のIPアドレスを設定します。
	WANポート	ルールを適用するWAN側(送信先)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。*
	プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。
	IPタイプ	フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します。

* ポート番号の範囲を指定する場合は、番号間に「-」を入力してください(例: 100-200)。ポート番号を指定しない場合は、「*」を入力してください(例: *)。

6 「OK」をクリック

操作4~6を繰り返してIPアドレスフィルタリングのルールを50件まで登録できます。

追加したルールは一覧表示されます。

- 追加したルールを編集:  をクリック→内容を編集→「OK」をクリック
- 追加したルールを削除:  →「OK」を順にクリック

■ ポートマッピング

インターネットからLAN内にある特定の端末にアクセスできるように設定します。サーバーやFTPを公開する場合やメッセージングソフトなどを利用する場合に設定します。

1 設定ツール画面→「設定」→「ポートマッピング」を順にクリック

2 「ルールを追加」をクリック



3	ルール名	ポートマッピングのルールに任意の名前を付けます。
	WANポート	ルールを適用するWAN側(送信元)のポート番号を設定します。*
	LAN IPアドレス	サーバーとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。
	LANポート	サーバーとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送するときの送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WANポート」と同じ値を設定します。
	プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。*

* WANポートとプロトコルの値が、重複して複数登録されている場合は、最新のルールが適用されます。

4 「OK」→「OK」を順にクリック

操作3~5を繰り返してポートマッピングのルールを10件まで登録できます。

追加したルールは一覧表示されます。

- 追加したルールを編集:  をクリック→内容を編集→「OK」→「OK」を順にクリック
- 追加したルールを削除:  →「OK」を順にクリック

■ DMZ

LAN内にある特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Webサーバを公開したりすることができるようになります。

1 設定ツール画面→「設定」→「DMZ」を順にクリック

2	DMZ設定	DMZ機能の「有効」/「無効」を設定します。
	DMZ IPアドレス	DMZホストのIPアドレスを設定します。「DMZ設定」を「有効」に設定しているときに表示されます。

3 「適用」をクリック

■ UPnP設定

UPnP機能を有効にするか設定します。

1 設定ツール画面→「設定」→「UPnP設定」を順にクリック

2 「有効」/「無効」をクリック

3 「適用」をクリック

Wi-Fi設定

■ 基本設定

Wi-Fi®の基本的な機能を設定できます。

1 設定ツール画面→「設定」→「Wi-Fi設定」を順にクリック

2 「基本設定」をクリック

3	Wi-Fi	本製品のWi-Fi®機能の「有効」/「無効」を設定します。
	マルチSSID	マルチSSID機能の「有効」/「無効」を設定します。
	SSID間通信隔離	SSID AとSSID Bの間で通信を利用するか設定します。「マルチSSID」を「有効」に設定しているときに表示されます。
	接続可能台数(1-10)	Wi-Fi®機能を利用時の接続可能台数を設定します。
	端末でSSIDとパスワードを表示する	本製品のホーム画面→「接続ガイド」→「手動接続」→SSIDを選択と操作したときに、本製品のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)を表示するか設定します。
	インターフェース	インターフェース(SSID A, SSID B)を選択します。「マルチSSID」を「有効」に設定しているときに選択できます。 • 選択したインターフェースの右側に、スマートフォンなどのカメラで読み取ってWi-Fi®接続できるQRコードが表示されます。 • 「SSID」以下の項目は選択したインターフェースについて設定します。
	SSID	ネットワーク名(SSID)を設定します。
	セキュリティ(暗号化方式)	セキュリティを選択します。
	パスワード	使用するパスワードを指定します。「セキュリティ(暗号化方式)」を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)」に設定しているときに表示されます。 • 「表示する」にチェックを入れると、入力しているパスワードが表示されます。
	WEPキー	使用するWEPキーを指定します。「セキュリティ(暗号化方式)」を「WEP」に設定しているときに表示されます。 • 「表示する」にチェックを入れると、入力しているパスワードが表示されます。
	SSIDステルス	SSIDが無線LAN(Wi-Fi®)対応機器から見えないようにするか設定します。
	プライバシーセパレーター	同時に接続している無線LAN(Wi-Fi®)対応機器同士のアクセスを禁止するか設定します。
	Wi-Fi暗号化強化(PMF)	Wi-Fi暗号化強化(PMF)の「有効」/「無効」を設定します。
	Web UIへのアクセス	「SSID B」を利用してWi-Fi®接続している機器からの設定ツール(Webブラウザ)の表示を許可するか設定します。「インターフェース」を「SSID B」に設定しているときに表示されます。

4 「適用」→「OK」を順にクリック

- 「Wi-Fi設定を初期値に戻す」→「OK」を順にクリックすると、「Wi-Fi設定」の「基本設定」のすべての項目、「詳細設定」の「Wi-Fiモード」、「Wi-Fiチャンネル」、「Wi-Fi帯域幅」、「Wi-Fi送信出力」をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

- ◎ au ICカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は、「Wi-Fiモード」を「5GHz」に設定できません。
- ◎ 「マルチSSID」を「有効」に設定し、SSID Bを利用できるように設定している場合、「Wi-Fiモード」は、SSID AとSSID Bの両方に反映されます。SSID AとSSID Bで異なる設定はできません。そのため、2.4GHz帯と5GHz帯の周波数帯を同時利用することもできません。

■ 詳細設定

Wi-Fi®の詳細な機能を設定できます。

1 設定ツール画面→「設定」→「Wi-Fi設定」を順にクリック

2 「詳細設定」をクリック

3	Wi-Fiモード	利用する周波数帯を設定します。
	Wi-Fiチャンネル	利用チャンネルを選択します。
	Wi-Fi帯域幅	帯域幅を設定します。
	スリープモード	スリープモードの「有効」/「無効」を設定します。 • スリープモードとは、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi®機能を自動的に「OFF」にする機能です。 • 以下の場合、スリープモードになりません。 <ul style="list-style-type: none">• 画面点灯中• 指定のACアダプタ(別売)や指定のクレードル(別売)での充電中• パソコンなどとUSB接続中• 指定のクレードル(別売)を利用して有線LAN接続中• モバイル給電中
	スリープモードタイマー	「スリープモード」が設定されている場合に、Wi-Fi®機能を自動的に「OFF」にするまでの時間を設定します。
	Wi-Fi送信出力	Wi-Fi®の送信出力について設定します。
	TCP NATタイマー	TCP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス/ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。
	UDP NATタイマー	UDP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス/ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。

4 「適用」→「OK」を順にクリック

- ◎ au ICカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は、「Wi-Fiモード」を「5GHz」に設定できません。
- ◎ 「マルチSSID」を「有効」に設定し、SSID Bを利用できるように設定している場合、「Wi-Fiモード」は、SSID AとSSID Bの両方に反映されます。SSID AとSSID Bで異なる設定はできません。そのため、2.4GHz帯と5GHz帯の周波数帯を同時利用することもできません。

■ WPS

無線LAN(Wi-Fi®)対応機器とWPS機能を利用して接続する場合に、設定ツールからWPS接続を開始できます。

1 設定ツール画面→「設定」→「Wi-Fi設定」を順にクリック

2 「WPS」をクリック

3 「開始」をクリック

- 開始後、WPS接続を止めるときは「停止」をクリックします。

4 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を操作して接続する

- 無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の操作については詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)で接続する」(▶P.26)をご参照ください。

■ 端末設定

本製品を利用するための各種設定を行います。

■ Web UIパスワード

設定ツールのログインパスワードを設定します。

・お買い上げ時のパスワードはIMEI情報(端末識別番号)の下6桁に設定されています。

- 1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック
- 2 「Web UIパスワード」をクリック
- 3 「現在のパスワードを入力」、「新しいパスワードを入力」、「新しいパスワードを再入力」欄をそれぞれ入力
- 4 「適用」をクリック

■ 通信量設定

本製品で通信したモバイルネットワークのデータ通信量を確認できます。また、ロック画面やホーム画面に表示するデータ通信量を設定したり、本製品で通信するデータ量の上限を設定したりすることができます。

■ データ通信量の情報をリセットする

モバイルネットワークを利用したデータ通信量のカウントをリセットできます。

- 1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック
- 2 「通信量設定」をクリック
当月に利用したデータ通信量や以前にリセットした日付、リセットしてから経過した期間を確認できます。
- 3 「リセット」をクリック

■ データ通信量を設定する

画面に表示するデータ通信量や使用するデータ通信量の上限、自動リセット日などを設定できます。

- 1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック
- 2 「通信量設定」をクリック

3	データ通信量をロック画面とホーム画面に表示する設定(1ヶ月)	ロック画面とホーム画面に表示するデータ通信量を設定します。
	ハイスピードモード	ハイスピードの通信量表示について「有効」/「無効」を設定します。
	ハイスピードプラスエリアモード	ハイスピードプラスエリアの通信量表示について「有効」/「無効」を設定します。
	自動リセット日	データ通信量を自動でリセットする日付を設定します。 ・「31」に設定した場合、翌月1日の午前0時にリセットされます。
	最大通信量	当月使用するデータ通信量の上限を設定できます。
	通知設定	設定した最大通信量の上限に達した場合に通知するかを設定します。
	設定(3日)	
	ハイスピードモード	ハイスピードの通信量表示について「有効」/「無効」を設定します。
	ハイスピードプラスエリアモード	ハイスピードプラスエリアの通信量表示について「有効」/「無効」を設定します。
	最大通信量	本日までの3日間に使用するデータ通信量の上限を設定できます。

- 4 「適用」をクリック

- ◎ 通信量は本製品側でカウントしているため、カウントするデータ量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なることがあります。
- ◎ 「自動リセット日」を「31」に設定した場合、翌月1日の午前0時にリセットされます。

■ USBモード

USB通信規格を設定します。

- 1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック
- 2 「USBモード」をクリック
- 3 「USBモード」の「2.0」/「3.0」をクリック
- 4 「適用」→「OK」を順にクリック
「USBモード」を変更した場合は、本製品が自動的に再起動します。

- ◎ 「USB3.0」で接続中に通信が不安定になる場合は、USBモードを「USB2.0」に切り替えると安定した通信ができることがあります。

■ バックアップ・リストア

本製品に設定した内容をパソコンに保存したり、保存した設定情報を読み込んだりできます。

- ・ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。
- ・バックアップ・リストアできる設定項目について詳しくは、「メニュー項目/設定項目一覧」(▶P.58)をご参照ください。

■ バックアップする

- 1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック
- 2 「バックアップ・リストア」→「バックアップ」を順にクリック
- 3 画面の指示に従ってファイルを保存する

■ 復元(リストア)する

- 1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック
- 2 「バックアップ・リストア」をクリック
- 3 「開く」をクリック→以前にバックアップした設定情報のファイルを選択
- 4 「リストア」をクリック
設定が読み込まれ、本製品が自動的に再起動します。

■ ソフトウェア更新

新しいバージョンのソフトウェアがないか自動的に確認したり、自動的に更新する時刻を設定したりします。

- ・ソフトウェア更新について詳しくは、「ソフトウェアを更新する」(▶P.56)をご参照ください。
- ・お買い上げ時は、新しいバージョンのソフトウェアの情報が届いた場合はAM4:00に自動更新するように設定されています。

■ 自動更新に設定する

更新情報が本製品に届くと自動でソフトウェアを更新します。

1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック

2 「ソフトウェア更新」をクリック

3 「自動更新」の「有効」をクリック

4 「自動更新時間」で自動更新する時刻を入力

ソフトウェア更新中はデータ通信を利用できません。本製品を利用しない時間帯に設定してください。

5 「適用」をクリック

■ すぐに更新する

1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック

2 「ソフトウェア更新」をクリック

3 「更新」→「OK」を順にクリック

■ ファイルを指定して更新する

あらかじめパソコンに保存したファイルからソフトウェアを更新できます。

・ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。

1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック

2 「ソフトウェア更新」をクリック

3 「ファイル選択」をクリック→新しいバージョンのソフトウェアファイルを選択

4 「ローカルアップデート」をクリック

■ 初期値に戻す

設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック

2 「初期値に戻す」をクリック

3 「オールリセット」をクリック

4 「OK」をクリック

本製品が自動的に再起動し、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

■ 再起動

■ すぐに再起動する

1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック

2 「再起動」をクリック

3 「再起動」をクリック

4 「OK」をクリック

本製品が再起動します。

■ 自動再起動を設定する

指定した日数を経過すると、指定した時刻に再起動するように設定できます。

1 設定ツール画面→「設定」→「端末設定」を順にクリック

2 「再起動」をクリック

3 「自動再起動」の「有効」をクリック

4 「自動再起動時間」欄で日数と時刻を入力

5 「適用」をクリック

端末情報

本製品に取り付けているau ICカードの電話番号やIMEI情報(端末識別番号)など、本製品の情報を確認できます。

1 設定ツール画面で「端末情報」をクリック

海外利用

海外利用	52
au世界サービスについて	52
海外利用に関する設定を行う	52
お問い合わせ方法	53
海外でのご利用上のご注意	53

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてUMTS/LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- 特別な申し込み手続きや月額料の定額は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
 - ※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。
 - ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通信した翌々日よりご利用が可能です。
- ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/>

■ 海外でご利用のお客さま ※渡航前に必ずご確認ください

https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

- 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- データ通信を行う場合は以下の操作で「国際ローミング」を「ON」または「有効」に設定します。
- 本製品は、海外で5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能をご利用いただくことはできません。

■ 本製品のタッチメニューで行う場合

■ 国際ローミングを設定する

- 1 ホーム画面→[設定]→[モバイルネットワーク]→[国際ローミング]→[ON]に設定する
確認画面が表示された場合は内容を確認し、「OK」を選択してください。

■ 通信モードを設定する

使用するネットワークを設定します。

- 1 ホーム画面→[設定]→[モバイルネットワーク]→[通信モード]
- 2 [ハイスピードプラスエリア]
- 3 [はい]

- 「ハイスピードプラスエリア」に切り替えるとお客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。
- サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
 - 海外ダブル定額
<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-ite/>

■ 設定ツールで行う場合

あらかじめ、本製品をパソコンなどと接続し、設定ツール画面でログインしてください。

- 設定ツールについて詳しくは、「設定ツールについて」(▶P.44)をご参照ください。

■ 国際ローミングを設定する

- 1 設定ツール画面→「ネットワーク」→「ローミング設定」を順にクリック
- 2 「有効」に設定する
- 3 「適用」→「OK」を順にクリック

■ 通信モードを設定する

- 1 設定ツール画面→「ネットワーク」→「ネットワーク設定」を順にクリック
- 2 通信モードを「ハイスピードプラスエリアモード」に設定する
- 3 「適用」→「OK」を順にクリック

■ 通信事業者を設定する

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 設定ツール画面→「ネットワーク」→「ネットワーク設定」を順にクリック
- 2 ネットワーク検索を「手動」に設定する
- 3 「スキャン」をクリック
利用可能なネットワークを検索して表示します。
- 4 通信事業者のネットワークを選択
- 5 「登録」をクリック

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>

海外でのご利用上のご注意

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、利用停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生したデータ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。
PINコードの設定については、「PIN管理」(▶P.46)をご参照ください。

付録・索引

付録.....	56
ソフトウェアを更新する.....	56
故障とお考えになる前に.....	56
アフターサービスについて.....	57
周辺機器.....	57
メニュー項目／設定項目一覧.....	58
主な仕様.....	62
データ通信端末の比吸収率(SAR)について.....	62
Regulatory information.....	63
FCC Notice.....	63
輸出管理規制.....	64
知的財産権について.....	64
索引.....	65

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。更新を開始する方法としては以下のいずれかの方法で行います。

■ 自動的に更新する

更新情報が本製品に届くと自動でソフトウェアを更新します。

- 1 ホーム画面→[設定]→[ソフトウェア更新]→[自動更新]を「ON」に設定する
更新する時間を指定する場合は、「更新時間」をタップし、更新する時刻を選択してください。

■ すぐに更新する

- 1 ホーム画面→[設定]→[ソフトウェア更新]→[ソフトウェア更新]
確認画面が表示された場合は内容を確認し、「OK」を選択してください。
・ソフトウェア更新が不要な場合、「お使いのソフトウェアは最新版です」と表示されます。



◎ ソフトウェア更新は設定ツールからも同様に操作できます。詳しくは、「ソフトウェア更新」(▶P.50)をご参照ください。

■ ご利用上のご注意

- ・データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ・本製品は自動更新の設定にかかわらず、下記のタイミングで最新ソフトウェアの更新が必要かどうかを確認します。
 - ・本製品を起動したとき
 - ・本製品起動中(定期ボーリング時)
 - ・ソフトウェア更新を実行したとき
- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、「Speed Wi-Fi NEXT W07」をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な「Speed Wi-Fi NEXT W07」をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・ソフトウェア更新を完了するには本製品の再起動が必要です。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店(一部ショップを除く)にお持ちください。
- ・十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- ・電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ・海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ・ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください
- ・ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください
Wi-Fi®が繋がらない	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？ (▶P.23) ・Wi-Fi®の設定をしましたか？ (▶P.42) ・本製品と無線LAN(Wi-Fi®)対応機器のWi-Fi®機能が「ON」になっていることを確認してください。また、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器のWi-Fi®仕様が本製品と合致しているか、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の取扱説明書でご確認ください。(▶P.19) ・正しいパスワードを入力しているか、確認してください。パスワードは下記の操作で確認できます。 ・ホーム画面→[接続ガイド]→[手動接続]→接続するSSIDを選択([SSID B])を選択した場合は、「有効」を「ON」に設定してください。(▶P.28) ・「セキュリティ(暗号化方式)」を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)」に設定している場合は、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器がWPAおよびWPA2-PSKのセキュリティ(暗号化方式)に対応しているか、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の取扱説明書でご確認ください。(▶P.48) ・ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)対応機器によっては、ステルス機能やWi-Fi暗号化強化(PMF)に対応していない場合があります。Wi-Fi®接続ができないときは、「SSIDステルス」と「Wi-Fi暗号化強化(PMF)」の設定を「無効」に設定して再度接続してください。(▶P.48)
「圏外」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・電波は十分に届いていますか？ (▶P.23) ・サービスエリア外にいませんか？ (▶P.23) ・内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？ (▶P.12) ・正しいau ICカードが挿入されていますか？ (▶P.13) ・「通信モード」が間違っていないですか？ (▶P.40) ・スリープモードになったあと、何も操作しない状態で約30分経過すると、ネットワークを切断して省電力状態になります。☞(電源キー)を押して画面を点灯したり、充電を開始すると、ネットワークに接続します。(▶P.43)
インターネットに接続ができない(場所を移動しても「圏外」の表示が消えない)/通信が切れたり、通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れ直してください。(▶P.17) ・au ICカードを入れ直してください。(▶P.14) ・電波の性質により、「圏外」ではない状態でもインターネットに接続ができない場合があります。場所を移動してください。 ・時間帯によっては、電波の混み具合により、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間を置いて再度接続してください。
海外でデータ通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際ローミング」を「ON」にしてください。(▶P.52) ・ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。(▶P.52) ・本製品の電源を入れ直すことで回復することがあります。(▶P.17)
接続/切断した無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の表示が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・本製品に無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を接続/切断しても接続台数の表示などが変わらないことがありますが、数分経過すると正しく表示されます。
USB接続ケーブルで接続したパソコンが本製品を認識しない	<ul style="list-style-type: none"> ・本製品が、USB Type-Cケーブル(市販品)で正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。(▶P.38) ・USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。 ・USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
キー/タッチパネルの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「画面ロック」が設定されていませんか？ (▶P.43) ・電源を切り、電源を入れ直してみてください。 ・電源は入っていますか？ (▶P.17)
タッチパネルで意図した通りに操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ・手袋などをしたままで操作していませんか？ ・爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ ・タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。(▶P.22) ・再起動してください。(▶P.17)

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ・「圏外」が表示される場所での使用が多くありませんか？ (▶P.23) ・内蔵電池が寿命になっていませんか？電池の状態を確認してください。(▶P.15) ・十分に充電されていますか？ (▶P.15)
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・指定の充電用機器(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ (▶P.15) ・USB Type-Cケーブル(市販品)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。(▶P.16) ・充電しながら通話、その他機能の操作を長時間行うと、本製品の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本製品の温度が下がってから再度充電を行ってください。(▶P.15)
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・内蔵電池は充電されていますか？ (▶P.15) ・を長押ししていますか？ (▶P.17)
操作できない/画面が動かない/電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ・を8秒以上長押しし、強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.17)
電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が切れていませんか？ (▶P.15)
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が切れていませんか？ (▶P.15)
充電してくださいなどと表示された	<ul style="list-style-type: none"> ・電池残量がほとんどありません。(▶P.15)
au ICカード(SIM)エラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいau ICカードが挿入されていますか？ (▶P.13)
ディスプレイの照明が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ・「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？ (▶P.43)
ディスプレイの照明がすぐに消える	<ul style="list-style-type: none"> ・「画面点灯時間」が短く設定されていませんか？ (▶P.43)
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ・長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「タイムゾーン自動設定」が「ON」になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。(▶P.43)

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内部の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ 本製品以外の付属品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSpeed Wi-Fi NEXT W07本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認ください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>

- ◎ ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲渡者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

周辺機器

- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA) (別売)
 - TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA) (別売)
 - 共通ACアダプタ05(0501PWA) (別売)※
 - MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA) (別売)
 - クレードル(SHD31PUA) (別売)
- ※ ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

- ◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
<https://onlineshop.au.com/>

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	ポータブル デバイスで の表示	バック アップ/ リストア	参照先
最大通信量	1MB~999MB 1GB~999GB	10GB	○	○	
USBモード					
USBモード	2.0、3.0	3.0	—	○	▶P.49
バックアップ・リストア					
バックアップ	—	—	—	—	▶P.49
リストア	—	—	—	—	
ソフトウェア更新					
自動更新	有効、無効	—	—	○	▶P.50
自動更新時間	00~23	4	—	○	
更新	—	—	—	—	
ローカルアップデート	—	—	—	—	
初期値に戻す					
オールリセット	—	—	—	—	▶P.50
再起動					
再起動	—	—	—	—	▶P.50
自動再起動	有効、無効	無効	—	○	
自動再起動時間	日数: 1~30 時刻: 00:00~23:59	日数: 30 時刻: 00:00	—	○	
端末情報	—	—	○	—	▶P.50

本体(タッチメニュー)

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ/リストア	参照先
データ通信量				
データ通信量設定				
データ通信量表示	1ヶ月/3日/表示しない	1ヶ月	○	▶P.42
設定(1ヶ月)				
ハイスピード	ON, OFF	OFF	○	
ハイスピードプラスエリア	ON, OFF	ON	○	
自動リセット日(毎月)	1~31	31	○	
最大通信量	1MB~999MB, 1GB~999GB	6GB	○	
設定(3日)				
ハイスピード	ON, OFF	ON	○	
ハイスピードプラスエリア	ON, OFF	ON	○	
最大通信量	1MB~999MB, 1GB~999GB	10GB	○	
リセット	-	-	-	
接続リスト	-	-	-	▶P.42
端末情報	-	-	-	▶P.42
接続ガイド				
QRコードで接続	-	-	-	▶P.26
WPS	-	-	-	
手動接続				
SSID A	-	-	-	
SSID B	-	-	-	
有効	ON, OFF	OFF	○	
モバイル給電				
給電	-	-	-	▶P.16
給電停止する電池容量	50%, 30%	50%	○	
設定				
モバイルネットワーク				
通信モード	ハイスピード, ハイスピードプラスエリア	ハイスピード	○	▶P.42
APNプロファイル選択	表示されるプロファイルから1つ選択	INTERNET	○	
国際ローミング	ON, OFF	OFF	○	
Wi-Fi設定				
Wi-Fi	ON, OFF	ON	○	▶P.42
Wi-Fiモード	2.4GHz, 5GHz	2.4GHz	○	
Wi-Fiスリープ設定				
Wi-Fiスリープ設定	ON, OFF	ON	○	▶P.43
オフまでの時間	5分, 10分, 15分	10分	○	
4×4MIMO設定	ON, OFF	ON	○	▶P.43
画面ロック				
ロック	ON, OFF	OFF	○	▶P.43
パスワード変更	4文字の数字	-	○	
画面設定				
画面の明るさ	最小(0段目)~最大(10段目)(スライダーの可動範囲)	3段目	○	▶P.43
画面点灯時間	15秒, 30秒, 60秒, 90秒, 120秒	90秒	○	
Language Setting	日本語, English	日本語	○	▶P.43
時刻設定				
タイムゾーン自動設定	ON, OFF	ON	○	▶P.43
タイムゾーン選択	各国のタイムゾーン	東京 GMT+09:00	○	
24時間表示を使う	ON, OFF	ON	○	
ソフトウェア更新				
ソフトウェアバージョン	-	-	-	▶P.56
自動更新	ON, OFF	-	○	
更新時間	00~23	04	○	
ソフトウェア更新	-	-	-	
USBモード	USB 2.0, USB 3.0	USB 3.0	○	▶P.43
クイック起動	ON, OFF	ON	○	▶P.43
WebUIアクセス	-	-	-	▶P.43
電池性能表示	-	-	-	▶P.43

主な仕様

■ 本体

サイズ (幅×高さ×厚さ)	約108mm×72mm×15mm
質量	約150g(内蔵電池含む)
インターフェース	USB Type-C端子
ディスプレイ	約2.4インチ、TFT、240×320(QVGA)
電源	DC5.0V、3.0A
内蔵電池	リチウムイオン、3.85V
バッテリー容量	4000mAh
連続待受時間	約1410時間
連続通信時間	約1180分
環境条件	動作周囲温度範囲: 5℃~35℃ 動作周囲湿度範囲: 35%~85%
充電時間	TypeC共通ACアダプタ01(別売)使用時: 約170分 TypeC共通ACアダプタ02(別売)使用時: 約180分

◎ 連続通信時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ WAN

通信方式	国内: WiMAX 2+、LTE 海外: UMTS、LTE
------	----------------------------------

■ LAN

Wi-Fi®	
通信方式	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)*/ac*準拠
対応周波数	2.4GHz: 1~13ch 5GHz: W52、W53、W56
セキュリティ方式	Open、WEP、WPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)
最大同時接続台数	無線LAN(Wi-Fi®): 10台 USB接続: 1台

* MIMOに対応しています。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)

長さ	約23mm
質量	約0.5g

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種Speed Wi-Fi NEXT W07は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.880W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○シャープのホームページ:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

○auのホームページ:

<https://www.au.com/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Regulatory information

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHD31 is in compliance with Directive 2014/53/EU.
The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>

Manufacturer's Address:
SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

• Description of accessories

USB cable	For charging, peripherals, etc.
nano IC card	au Nano IC Card 04 LE/non-au Nano IC Cards non-au Nano IC Cards can be used after SIM-unlocking the device.

• Frequency range of supported bands in EU

WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 28	Tx 704.5 to 746.5 MHz Rx 759.5 to 801.5 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW:20MHz) Tx/Rx 2422 to 2462 MHz (BW:40MHz)

• Maximum transmit power

WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 28	+23 dBm (Power Class3)
WLAN 2.4 GHz	+18.5 dBm

■ Battery - CAUTION

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when worn on the body is 0.90 W/kg[※].

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the device a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed in the About Device menu.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHD31
FCC ID	APYHRO00274
On the Body	1.05W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the device kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the device. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found at <https://www.fcc.gov/oe/ea/fccid> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Access® (WPA)、Wi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の登録商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®, Microsoft Edge®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、macOS、iPhone、iPod touch、iPad、iPad mini、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- QRコードは株式会社アンソーウェアの登録商標です。
- Google™、Android™、Google Chrome™は、Google LLCの商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、下記サイトをご参照ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/shd31/index.html>

- GPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/shd31/index.html>

■ License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。

索引

数字／アルファベット

4×4MIMO設定	43
5GHz帯	26
24時間表示を使う	43
APN プロファイル設定	46
APNプロファイル選択	42
au ICカードトレイ	12
au ICカード	13
au世界サービス	52
DFS機能	26
DFSチェック	26
DHCPサーバー	46
DHCP範囲	46
DMZ	47
DMZ IPアドレス	47
DMZ設定	47
DNS設定	46
English	43
FCC Notice	63
IPアドレスフィルタリング	
LAN設定	47
ファイアーウォール	47
IPタイプ	47
Language	45
Language Setting	43
LAN IPアドレス	
IPアドレスフィルタリング	47
ポートマッピング	47
LAN設定	46
LANポート	
IPアドレスフィルタリング	47
ポートマッピング	47
MACアドレス追加	45
MACアドレスフィルタリング	45
PIN	46
PIN管理	46
PINコード	9
PIN変更	46
PINロック	46
PINロック解除コード	9
QRコードで接続	
iPhone/iPod touch/iPad	37
Android	36
RESETボタン	
各部の名称と機能	12
操作	13
SSID	48
SSID間通信隔離	48
SSIDステルス	48
TCP NATタイマー	48
UDP NATタイマー	48
UPnP設定	47
USB 2.0	43
USB 3.0	43
USB接続モード	38
USBモード	
設定ツール	49
タッチメニュー	43
WAN IPアドレス	47
WANポート	
IPアドレスフィルタリング	47
ポートマッピング	47
WANポートPINGブロック	47
WebUIアクセス	43
Web UIパスワード	49
Web UIへのアクセス	48
WEPキー	48
Wi-Fi	
設定ツール	48
タッチメニュー	42
Wi-Fi®アンテナ	12
Wi-Fi暗号化強化(PMF)	48
Wi-Fi状態	45
Wi-Fiスリープ設定	43
Wi-Fi設定	
設定ツール	48
タッチメニュー	42
Wi-Fi送信出力	48
Wi-Fi帯域幅	48
Wi-Fiチャンネル	48

Wi-Fiモード	
設定ツール	48
タッチメニュー	42
WPS	
Android	34
Windows 8.1	31
Windows 10	29
設定ツール	48
無線LAN(Wi-Fi®)対応機器	27

あ

アイコン	
設定ツール画面	45
ホーム画面	23
インターフェース	48
オールリセット	50
オフまでの時間	43

か

外部接続端子	12
画面設定	43
画面点灯時間	43
画面の明るさ	43
画面ロック	
設定	43
操作	17
画面ロック解除	17
キーボード	24
基本設定	48
強制的に電源を切る	17
クイック起動	43
クレードル接続	40
国際ローミング	
海外利用(タッチメニュー)	52
タッチメニュー	42

さ

再起動	
設定ツール	50
電源キー	17
最大通信量	
設定(1ヶ月)(設定ツール)	49
設定(1ヶ月)(タッチメニュー)	42
設定(3日)(設定ツール)	49
設定(3日)(タッチメニュー)	42
削除キー	24
時刻設定	43
自動更新	
設定ツール	50
タッチメニュー	56
自動再起動	50
自動リセット日	49
自動リセット日(毎月)	42
手動接続	
iPhone/iPod touch/iPad	36
Android	35
Windows 8.1	32
Windows 10	30
Mac	33
無線LAN(Wi-Fi®)対応機器	28
詳細設定	48
初期設定	17
ステータスアイコン表示エリア	
設定ツール	45
タッチメニュー	22
スライド	22
スリープモード	48
スリープモードタイマー	48
スワイプ	22
セカンダリDNS	46
セキュリティ(暗号化方式)	48
接続ガイド	22
接続可能台数(1-10)	48
接続状態	45
接続端末	45
接続リスト	22
設定(1ヶ月)	
設定ツール	49
タッチメニュー	42
設定(3日)	
設定ツール	49
タッチメニュー	42

設定ツール	44
設定ツール画面	45
設定ツール表示	44
設定メニュー	45
ソフトウェア更新	
設定ツール	50
タッチメニュー	56

た

タイムゾーン自動設定	43
タッチパネル	12
タッチメニュー	42
タップ	22
端末情報	
設定ツール画面	50
ホーム画面	22
端末設定	49
端末でSSIDとパスワードを表示する	48
通信事業者設定	52
通信モード	
海外利用	52
設定ツール	46
タッチメニュー	42
通信量設定	49
通知設定	49
ディスプレイ	12
データ通信量	
設定ツール画面	45
ホーム画面	22
データ通信量設定	42
データ通信量表示	42
データ通信量をロック画面とホーム画面に表示する	49
電源キー	
各部の名称と機能	12
操作	13
電源を入れる	17
電源を切る	17
電池性能表示	43

な

内蔵アンテナ	12
日本語	43
入力欄	24
ネットワーク検索	46
ネットワーク設定	46

は

ハイスピード	40
設定(1ヶ月)	42
設定(3日)	42
通信モード	40
ハイスピードプラスエリア	40
設定(1ヶ月)	42
設定(3日)	42
通信モード	40
ハイスピードプラスエリアモード	
設定(1ヶ月)	49
設定(3日)	49
ハイスピードモード	
設定(1ヶ月)	49
設定(3日)	49
パスワード	48
バックアップ	49
ファイアーウォール	47
プライベートパレーター	48
プライマリDNS	46
プロトコル	
IPアドレスフィルタリング	47
ポートマッピング	47
ポートマッピング	47
ホストIPアドレス	46
ホストサブネットマスク	46

ま

マルチSSID	48
無線LAN初期設定シール	26
無線LAN(Wi-Fi®)機能	26
メニュー項目/設定項目一覧	
設定ツール	58
タッチメニュー	61
モバイル給電	16

モバイルネットワーク	
設定ツール	46
タッチメニュー	42

ら

リース時間(分)	46
リストア	49
リセット	
工場出荷状態に戻す	17
設定ツール	49
タッチメニュー	42
ルール名	47
ローミング設定	
海外利用(設定ツール)	52
設定ツール	46
ログアウト	45
ログイン	45

Webサイトやアプリなら、その場で解決。

auホームページ <https://www.au.com/>

よくあるご質問

「よくあるご質問」を集めた総合Q&Aサイト。 [au よくあるご質問](#) で検索

My au (Web版)

- パソコン・スマートフォン・タブレット・4G LTE ケータイから
<https://my.au.com/>
- 3G ケータイから
EZ ボタン▶トップメニューまたはau ポータルトップ▶My au

My au (アプリ版)

- au Market もしくは App Store から
「My au」で検索

詳細は
コチラ



困ったときは、お客さまセンターへ。

メッセージ

テキスト形式で簡単・気軽にお問い合わせできる窓口です。「電話で問い合わせる時間がない」というお客さまにも最適。

お問い合わせ方法

My au アプリ、iMessage、
+ メッセージから



特長

- ✓ 24 時間いつでも気軽にお問い合わせ可能。
- ✓ チャット感覚でかんたん手軽。
- ✓ 電話がしにくい場所や時間帯でもご利用可能。

詳細は
コチラ



電話から

au ホームページではお問い合わせ内容に応じた担当者の直通番号をご案内しています。

詳細は
コチラ



お客さまセンター (年中無休 / 通話料無料)	au 携帯電話から	au 携帯電話以外 / 一般電話から	左記番号がつかない場合
総合案内 (受付 9:00~20:00)	局番なし 157	0077-7-111	0120-977-033 [沖縄の方は] 0120-977-699
盗難・紛失・故障案内 (24 時間受付)	局番なし 113	0077-7-113	0120-925-314

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます (メンテナンス時を除く)。
※ 上記の電話番号がつかない場合があります。

法人お客さまセンター (法人契約の方)
(通話料無料)

	au 携帯電話から	au 携帯電話以外 / 一般電話から
総合案内 受付 9:00 ~ 19:00 (平日) 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日) ※ 年末年始除く	0077-7041	0120-925-041

故障紛失サポートセンター (年中無休 / 通話料無料)	au 携帯電話 / au 携帯電話以外 / 一般電話から
盗難・紛失・故障 (受付 9:00~20:00)	0120-925-919

※ 上記の電話番号がつかない場合があります。



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



有害サイトから
子供を守る!



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用
するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・
充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお
店で回収し、リサイクルを行っています。



衝撃や過度な外圧を加えると、電池
の破損・変形等により発熱・発火等
の原因となり大変危険です。